

松原市教育委員会 7月定例会 議事録

1. 日 時 令和元年7月17日(水) 午後1時00分

2. 場 所 松原市役所 8階大会議室

3. 付議事件等

- (1) 議 案 第9号 松原市教育振興基本計画策定委員会委員の委嘱及び任命について
- 第10号 教育財産の用途廃止について
- 第11号 令和2年度使用松原市立義務教育諸学校教科用図書
(中学校「特別の教科 道徳」以外)の採択について
- 第12号 令和2年度使用松原市立義務教育諸学校教科用図書
(中学校「特別の教科 道徳」)の採択について
- 第13号 令和2年度使用松原市立義務教育諸学校教科用図書(小学校)
の採択について
- 第14号 松原市教育委員会職員に対する処分について

出席委員 東野教育長 栗崎教育委員 田中教育委員 有馬教育委員 和田教育委員
佐野教育委員

事務局 横田学校教育部長 高橋教育監 中瀬福祉部長
浦井教育総務部次長 岡林学校教育部次長
小川教育総務部副理事兼学校給食課長 小玉福祉部次長兼福祉事務所長
田中子ども未来室長
宮本教育政策課長 田中教育総務課長 芝田文化財課長 幸教職員課長
森教育推進課長 前崎地域教育課長 道屋教育研修センター長
吉田福祉部参事

時間となりましたが、定例教育委員会を開催する前に、あらかじめお願いを申し上げます。

傍聴人の皆様は、「傍聴希望の皆様へ」の遵守事項に従い、静粛な環境の中で議事を進行していきたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

カメラ、ビデオ、録音機等の持ち込み・使用は、先ほどお願いの用紙を配布しておりますが、徹底のほうをお願いいたします。また、携帯電話等については、電源をお切りいただくか、マナーモードにさせていただき、撮影・録音はご遠慮くださるようお願いをいたします。

以上を守っていただき、会議の進行にご協力いただくよう、お願いいたします。

それでは、ただいまの出席委員は5名です。私を含め定足数に達しておりますので、会議は成立いたしております。

これより、7月定例教育委員会を開催いたします。

なお、伊藤教育総務部長が欠席との届け出がありましたので、ご報告をいたします。

なお、6月定例会の会議録につきましては、まだでき上がっておりませんので、次回定例教育委員会でお諮りしたいと思います。

本日の会議録の署名委員を指名いたします。

委員会会議規則第17条第2項の規定により、田中委員にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

それでは初めに、教育長報告を行います。お手元の資料に基づき報告させていただきます。

6月26日から7月2日まで、評価育成システムに係る校長の目標設定面談を行いました。令和元年度に行う校長自身の目標について、お聞きしたところでございます。

7月1日は、第69回社会を明るくする運動の決起大会に出席をいたしました。あいにくの空模様でございましたが、犯罪の非行防止と、罪を犯した人たちの更生に力を注がれている参加団体の方々の熱い思いに圧倒されたところでございます。

次に、7月5日、大阪府都市教育長協議会が開催され、出席してまいりました。今年度の教育費実態調査の実施や夏季研修会の開催について議論したところでございます。

7月8日は、南河内地区人事協議会と市町村教育長連絡協議会が続いて開催され、出席してまいりました。人事協議会につきましては、管理職選考試験の日程についての報告があり、松原市として、多くの先生に受験していただきたいと思っております。

7月9日、10日は、教育委員の皆様と一緒に、委員宅に先に配布し、目を通していただいた教科書の勉強会を実施し、本日の採択に向けて準備を進めてきたところでございます。大変お疲れさまでございます。

7月11日は、松原市精神保健福祉協議会が開催されました。第1部の総会では、令和元年度の会議内容等が審議され、第2部では、大阪府心の健康相談センターから、「ギャンブル等依存症について」の記念講演が行われたものでございます。

7月12日、セーフコミュニティ推進本部会議が開催され、9月8日に行われます活動報告会に向けた準備を行ってきたものでございます。

宮本教育政策課長	<p>その他、各種団体の行事等に出席をいたしました。 以上、ご報告とさせていただきます。 この報告につきまして、何かご意見ご質問等ございますでしょうか。</p> <p>特にないように思いますので、次に進めさせていただきます。 それでは、これより本日の議事に入ります。 議案が5件、その他が1件となっております。 初めに、「議案第9号 松原市教育振興計画策定委員会委員の委嘱及び任命について」を議題といたします。事務局より説明を求めます。</p> <p>それでは、「議案第9号 松原市教育振興基本計画策定委員会委員の委嘱及び任命について」をご説明申し上げます。 平成28年12月に、松原市教育振興基本計画前期計画を策定いたしました。この計画期間が平成30年度までとなっておりますので、現在、後期計画を策定しているところでございます。 議案説明資料の3ページをご覧くださいませでしょうか。 松原市教育振興基本計画策定委員会委員につきまして、平成30年7月30日に委嘱及び任命を行ったものですが、松原市教育振興基本計画策定委員会規則第4条に、「任期は、1年とし、再任を妨げない」となっており、今月で任期満了となりますので、再任させていただくこととなりました。 議案書のほうを1枚めくっていただきますでしょうか。そちらに名簿を記載させていただいておりますので、ご覧いただきたいと思っております。 4番の川端様以外は再任となっております。幼稚園の保護者の方につきましては、前任の方のお子さんが幼稚園を卒園されましたので、新たに川端綾子様を委員として委嘱するものでございます。 以上を説明とさせていただきます。ご承認のほう、よろしくお願ひいたします。</p>
東野教育長	説明が終わりました。この件について、何かご意見等ございますでしょうか。
有馬委員	任期が1年とありますが、なぜ1年なのでしょう。お答えをお願いします。
宮本教育政策課長	本来ですと、平成30年度で終了になりますので、平成31年度から始まる計画を策定する予定でございましたので、1年の任期とさせていただいたものでございます。
東野教育長	よろしいでしょうか。 ほかに何かご意見ございますか。よろしいですか。
各委員	ほかに意見がないように見受けられますので、「議案第9号 松原市教育振興計画策定委員会委員の委嘱及び任命について」、可決することにご異議ございませんか。 (異議なし)

東野教育長	<p>異議なしと認めます。</p> <p>よって、「議案第9号 松原市教育振興計画策定委員会委員の委嘱及び任命について」は可決されました。</p> <p>続きまして、「議案第10号 教育財産の用途廃止について」を議題といたします。</p> <p>事務局より説明を求めます。</p>
吉田子ども未来室参事	<p>それでは、「議案第10号 教育財産の用途廃止について」ご説明いたします。</p> <p>四つ葉幼稚園の用地の一部、現在、松原市天美南4丁目276番30でございますが、地積69.2平方メートルにつきましては、現況につきましては、天美南22号線と接するという形の歩道として共用している現状です。今後、その部分につきましては、道路の一部として管理運営することが望ましいということを考えまして、今回、用途変更をお願いし、教育財産としての用途廃止をお願いするものです。</p> <p>6ページ、7ページに、その場所と範囲を示した資料をつけております。よろしく願いいたします。</p>
東野教育長	<p>説明のほうが終わりました。何かご意見等ございますでしょうか。</p>
田中委員	<p>ここは、もともと幼稚園の敷地だったということなのですよ。</p> <p>それが、この四つ葉幼稚園に改築というか、1つに統合されたときに、この土地だけ余ったという解釈でいいのでしょうか。余ったというのか、取り残されたというのか。</p>
田中子ども未来室長	<p>四つ葉幼稚園を新たに統合してつくらせてもらったときに、土地をそのまま購入させていただきましたが、この周りの交通状況等を勘案しまして、保護者の通園の安全性の確保という観点から、一部歩道とさせていただきます。当初は幼稚園の敷地内の歩道という形で管理運営させていただきましたが、今回、道路と一体的に今後の整備等をするのが望ましいであろうというふうな形になりましたので、道路として共用するために、今回、教育財産の廃止をお願いするものでございます。</p> <p>以上でございます。</p>
栗崎委員	<p>この道路は、写真を見させていただきましたら、横が駐車場になっておりますよね。この駐車場は、どこの駐車場ですか。</p>
田中子ども未来室長	<p>右手が駐車場になっておりますのは、四つ葉幼稚園の駐車場です。</p>
栗崎委員	<p>わかりました。ありがとうございます。</p>
東野教育長	<p>ほかに意見はございませんでしょうか。</p> <p>現状も歩道という形になっておまして、実際、四つ葉幼稚園ができたときから歩道です。今回、それを道路と一体で整備、管理運営してもらおうという形でされるということでございます。</p>

各委員	<p>それでは、ほかに意見がないようでございますので、「議案第10号 教育財産の用途廃止について」、可決することにご異議ございませんか。</p> <p>(異議なし)</p>
東野教育長	<p>異議なしと認めます。よって、「議案第10号 教育財産の用途廃止について」は可決されました。</p> <p>この後、教科書採択に関する議題の審議に入りますが、長時間の審議となることが予想されますので、審議に関与されない部局の職員につきましては、退室させていただくことをご了承願います。</p>
横田学校教育部長	<p>続きまして、「議案第11号 令和2年度使用松原市立義務教育諸学校教科用図書(中学校「特別の教科 道徳」以外)の採択について」を議題といたします。</p> <p>この件に関しましては、教育委員会は5月9日付文書番号松教推第56号で、松原市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会に対しまして、選定に関して調査・研究を行い、ご意見をいただくよう諮問いたしました。</p> <p>先日、選定委員会での審議を終え、7月5日に答申をいただきました。各委員の皆様にはお配りをし、本日はその写しが机上でございます。</p> <p>では、事務局より説明を求めます。</p>
東野教育長	<p>答申文の概要につきまして説明をさせていただきます。</p> <p>各中学校は、現在使用しております教科用図書を主たる教材として、授業改善をはじめとする豊かな教育活動を展開しておりまして、令和2年度には、新学習指導要領の完全実施に伴いまして、全ての中学校教科用図書の新たな採択に向けて、調査研究を進めていくことが行われる見通しでございます。</p> <p>これらの点に鑑みまして、令和2年度使用の松原市立義務教育諸学校教科用図書(中学校)につきましては、今年度と同一のものを使用することが望ましいということが、答申の概要でございます。</p> <p>以上でございます。</p>
横田学校教育部長	<p>説明が終わりました。</p> <p>この件について、他に資料等はございますでしょうか。</p> <p>本日の議案の中に、別紙「令和2年度使用中学校教科用図書(案)」がございます。</p> <p>また、平成27年度採択時の答申に添付いたしました、各教科書の総合所見の写しも机上の緑のファイルのほうにとじさせていただいております。緑のファイルです。</p> <p>以上でございます。</p>
東野教育長	<p>それでは、この件について委員の皆さんから何かご意見ご質問等はございますでしょうか。</p> <p>たしか、教科書は大体4年間で使うということで、今年が4年目と、来年</p>

	<p>ということになるのですけれども、先ほど、新学習指導要領に伴って来年度、教科が新たに採択されるということで、1年間延長されるということでしょうか。</p>
横田学校教育部長	<p>そのとおりでございます。現在4年目です。同一の教科書を使用しております。あと1年残すのみですので、新たな教科書を選定しての、先生方の立場にとりましたら、ゼロからの新しい教材研究等の負担を考えますと、特に学校現場から、現在、中学校で使用中の教科書に問題がある、使いにくいという声もございませんので、継続して来年も同一のものを使うということでございます。</p> <p>以上です。</p>
田中委員	<p>再度確認なのですが、1年間だけ延長して、来年度また採択の検討を行うということでもいいわけですね。</p>
横田学校教育部長	<p>ただいま田中委員がおっしゃったとおりでございます。</p>
東野教育長	<p>「議案第11号 令和2年度使用松原市立義務教育諸学校教科用図書（中学校「特別の教科 道徳」以外）の採択について」、令和元年度使用の教科書と同一の物を採択するというので、ご異議ございませんでしょうか。</p>
各委員	<p>（異議なし）</p>
東野教育長	<p>異議なしと認めます。</p> <p>よって、「議案第11号 令和2年度使用松原市立義務教育諸学校教科用図書（中学校「特別の教科 道徳」以外）の採択について」は可決されました。</p> <p>続きまして、「議案第12号 令和2年度使用松原市立義務教育諸学校教科用図書（中学校「特別の教科 道徳」）の採択について」を議題といたします。</p> <p>事務局より説明を求めます。</p>
横田学校教育部長	<p>「議案第12号 平成2年度使用松原市立義務教育諸学校教科用図書（中学校「特別の教科 道徳」）の採択について」ご説明申し上げます。</p> <p>お手元の緑のファイルをお開きください。</p> <p>中に、平成31年度4月16日付大阪府教育委員会の通知がございます。ご覧ください。</p> <p>「義務教育諸学校における平成32年度使用教科用図書の採択について」におきまして、2ページ1の（3）「中学校の道徳については、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第14条、同法施行令15条第2項及び第3項の規定により、平成31年度使用教科用図書と同一の教科書を採択しなければならないこと。」に基づきまして、議案書にあります、別紙「令和2年度使用 中学校教科用図書 特別の教科 道徳（案）」のとおり採択することを求めるところでございます。</p> <p>以上です。</p>

東野教育長	説明のほうが終わりました。この件について、何かご意見ご質問等がございますでしょうか。
田中委員	道徳も、先ほどの他の教科と同じような考え方、要は、来年また採択するので、1年延長しましょうという考え方でいいのでしょうか。
横田学校教育部長	今、田中委員がおっしゃったとおりでございます。
有馬委員	去年採択した道徳なのですけれども、今、学校で使われて、使いにくいという先生方の声などは上がってきたりしていますか。
横田学校教育部長	今のところ、使いにくいですとか、問題があるという声は届いておりません。 以上です。
栗崎委員	保護者の方も、道徳ですから、やはり読まれると思うのです。保護者の方からの声というのはございますか。
横田学校教育部長	今、委員がおっしゃったとおりで、道徳につきましては、できれば教科書を家に持ち帰って保護者と一緒に読みましょうという方針もございます。ですので、子どもたちはそういった行動もしていると思うのですが、今のところ教育委員会に、現在使用中の道徳の教科書に問題があるというお声は聞こえてきません。 以上です。
栗崎委員	ありがとうございます。
東野教育長	実際、特にこの部分については、無償措置にかかる法律で、平成31年度と同一の教科書を使わなければいけないということですか。
横田学校教育部長	今おっしゃられたとおりで、大阪府の教育委員会の通知の、同一の教科書を採択しなければならないことと、今、教育長がおっしゃられた法的根拠に基づいてということで措置を行っています。 以上です。
東野教育長	選択の余地はありません。わかりました。 よろしいでしょうか。
	それでは、意見はないように見受けられますので、「議案第12号 令和2年度使用松原市立義務教育諸学校教科用図書(中学校「特別の教科 道徳)」の採択について」を可決することにご異議ございませんか。
各委員	(異議なし)

東野教育長	<p>異議なしと認めます。</p> <p>よって、「議案第12号 令和2年度使用松原市立義務教育諸学校教科用図書（中学校「特別の教科 道徳）」の採択について」は可決されました。</p> <p>続きまして、「議案第13号 令和2年度使用松原市立義務教育諸学校教科用図書（小学校）の採択について」を議題といたします。</p> <p>この教科用図書の採択に関しましては、教育委員会は、5月9日付、文書番号松教推第22号で、松原市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会に対しまして、選定に関して調査・研究を行い、ご意見をいただくよう諮問いたしました。</p> <p>先日、選定委員会での審議を終え、7月5日に答申をいただき、各委員の皆様にはその写しを配布し、本日もその写しが机上にあります。</p> <p>それでは、この答申文を中心に、教育委員会の判断と責任で、松原市の子どもたちに最も適した教科用図書の採択に関する審議を進めたいと思います。</p> <p>この答申文以外に資料等はございませんでしょうか。</p>
横田学校教育部長	<p>この間、教科書選定委員会のもとに調査員を置きまして、調査・研究を行いました。その結果を調査員報告書として提出いただきましたので、その調査報告書がお手元にあります。</p> <p>また、大阪府の教育委員会が作成しました教科用図書選定資料、あるいは文部科学省より示された各教科書発行者の編修趣意書がございます。</p> <p>さらに、それらを踏まえた選定委員会を4回開催いたしました際の会議録がございます。</p> <p>また、教科用図書の採択にかかわる文部科学省並びに大阪府教育委員会からの通知等がございます。</p> <p>あわせて、教科書センターに寄せられました市民からの意見、各小学校及び研究会からの参考資料、松原市教育委員会に寄せられました各種団体様等からの要望書等がございます。</p> <p>以上です。</p>
東野教育長	<p>ありがとうございます。それでは、それらの資料も参考にしながら、採択に関する審議を進めてまいりたいと思います。</p> <p>まず、事務局より提案があるようでございますので、お願いいたします。</p>
岡林学校教育部次長	<p>教科書の検索及び専門的な内容についての質疑について、その補助要員といたしまして、指導主事を7名出席させたいと思いますのでご承認いただきますよう、よろしくお願いいたします。</p>
東野教育長	<p>よろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>(異議なし)</p>
東野教育長	<p>それでは、松原市教育委員会会議規則第13条及び第16条に基づき、今回、令和2年度使用松原市立義務教育諸学校教科用図書（小学校）の決定方法について細則をお諮りしたいと思います。</p> <p>教科用図書の採択につきましては、教育委員会の判断と責任において行う</p>

という観点から、答申を踏まえた審議によって決定していきたいと考えております。

採択の方法につきましては、教育長及び教育委員による無記名方式の投票によって行いたいと考えております。

1回目の投票の結果、過半数をとった教科用図書を採択いたします。

過半数に満たない場合は、得票があった教科用図書について再度審議を深めた上で、再投票いたします。

2回目以降の投票で過半数をとった教科用図書があればそれを採択し、過半数をとったものがなくても、上位2社に絞れる場合（3票・3票や、3票・2票・1票になった場合等）ですが、その2社について審議、投票を行います。その審議、投票の結果、同数が2回繰り返された場合は、教育長裁決により決定をいたします。

3社から6社に割れた場合は、それらについて審議、投票を繰り返し、最終的に過半数をとった教科用図書を採択いたします。

なお、投票の実施につきましては、静粛な環境を保持するために議場を閉鎖し、会場への出入りを禁止いたしたいと思っております。

その方法で皆様よろしいでしょうか。

各委員

(異議なし)

東野教育長

ありがとうございます。それでは異議なしと認めます。

それでは、これより小学校教科書採択の審議に入ります。

まず、選定委員会の活動及び答申文の概要について、報告をお願いいたします。

岡林学校教育
部次長

この間の調査研究活動の経過について報告させていただきます。

5月9日、第1回選定委員会を開催いたしました。選定委員に委嘱・任命状を交付した後、教育長から選定委員会に諮問文が施行されました。また、事務局から教科書採択の仕組み等の説明がございました。

5月16日、調査員全体会を開催いたしました。調査員に任命状を交付し、調査研究に当たりましては、学習指導要領の各教科の目標や内容にのっとり、教科書採択にかかわる国・府の通知等を踏まえること、さらに、府の選定資料に基づき、調査を進めるよう指示いたしました。

また、守秘義務と公正確保についても確認をいたしました。

その後、3回程度の調査員会議が開催され、各社の教科書の特にすぐれた観点を、調査報告書としてまとめたもの、選定委員会に提出されました。

6月25日、第2回選定委員会を開催いたしました。

初めに、学習指導要領の各教科の目標や内容にのっとり、教科書採択にかかわる国の通知等に基づき、府の選定資料を踏まえ、選定の審議をしていただくよう確認いただきました。調査員報告書に基づき、調査員代表者からの報告があり、質疑応答がございました。

最後に、答申の取りまとめの方法についての協議があり、調査員報告書、調査員代表の口頭報告、並びに選定委員会の論議を踏まえ、特にすぐれている点について、答申文を作成することを決定いたしました。

7月1日、第3回選定委員会を開催いたしました。答申文に書き入れる各教科書の内容と、答申文の前文に書き入れる内容について協議いたしまし

た。

7月4日、第4回選定委員会を開催いたしました。委員長による取りまとめの前文と、各教科書の総合所見を合わせ、答申文について協議し、決定をいたしました。

7月5日、選定委員会により、教育長に答申が提出されました。
以上でございます。

横田学校教育
部長

今、報告のありました選定委員会におきましては、学習指導要領の示す教科の目標・内容を踏まえまして、令和2年度使用教科用図書選定資料（大阪府教育委員会）に示されました項目・観点、並びに本市教育の特色、地域及び児童の実態に配慮するとともに、調査員による調査報告書に十分留意をし、調査・研究、審議に努めてまいりました。

このような観点をもとに、審議の経過を踏まえ、各種目の教科用図書について選定に関する意見を、別添のとおり答申しております。

以上でございます。

東野教育長

ありがとうございます。それでは、全13科目ございますが、はじめに、「国語」から審議をいたしたいと思います。

既に皆さんお読みになったと思いますが、各委員よりご意見ご質問のほう、何かございますでしょうか。

和田委員

今回新しい教科書ができるということで、学習指導要領のもとの教科書なのですが、その学習指導要領の中で、例えば、主体的で対話的、深い学びを実現しましょうとか、思考力・判断力・表現力、これを大事にしていきましょうということがいわれているわけですが、そういった観点で、選定委員として見てこられて、工夫されているなというところがありましたら、教えていただきたいです。

横田学校教育
部長

ただいまのご質問ですが、4社ございますが、全ての教科書で、年間を通じまして、主体的な学びを広げていくような工夫がされておりました。つけたい力を示していたり、どの単元でそれらの力を学ぶのか、領域別に整理がされたりしたページもございました。または、学習の手引きが工夫されておりまして、目当てや振り返り、学習のプロセスなどがわかりやすく示されておりました。

具体的には、まず学校図書4年生の上をごらんください。

目次の後、6ページからでございますが、見開きを広げられるようになっておりますので、広げていただきまして、6ページから13ページです。ここで、国語の学習を始めましょうということで、前の学年でどのようなことを学びましたか、であるとか、昨年の学習を振り返って、この折り込みを開けると、領域別に学年でつけたい力がまとめられております。

特に11ページの、学習の進め方ですが、11ページを広げたまま、16ページをあけてください。16ページの「白いぼうし」の単元を見ていただきますと、11ページのつかむ、見方や考え方を学ぶ、まとめる、振り返る、広げる、という学びの流れを、この「白いぼうし」の本文とともに見ながら考えていくことができる。そういう工夫があります。

それから、24ページに進んでいただきますと、学習の手引きが、こちら

も両面見開きでつくられています。右端の矢のマークのところには、ねらいです。それから、左端の丸い矢印のところは、振り返りということで、このように手引きがコンパクトにまとめられておりますので、学習全体を見渡すことができ、見通しが持ちやすいということでございます。

次に、教育出版4年生、上の13ページを開いてください。

この「白いぼうし」の、まず表紙に当たるページでございますが、右端に青色で目立つように、ねらいが書かれています。

そして24ページをご覧ください。24ページと25ページが見開きで、こちら手引きが構成されておまして、確かめよう、考えよう、深めよう、広めようということで、4つのステップで構成されております。少ない言葉、表現で、端的に学習内容が記載されております。下段には、課題に対する児童の反応例が、掲載されております。

振り返りの観点につきましては、27ページにも掲載されております。以上でございます。

栗崎委員

国語は、やはり読み書きが非常に重要だと思います。小学校に入学したばかりの1年生の子どもたちが、新しい勉強に意欲的に取り組めるというような工夫、どんな工夫をされていますか。ご説明お願いいたします。

横田学校教育
部長

意欲的に学ぶ工夫ということでございますが、学習指導要領には、スタートカリキュラムといたしまして、就学前の教育内容との円滑な接続を図るようということが記されております。

特に、その中でも国語につきましては、全ての学習の基礎となる内容を取り扱いますので、子どもたちが期待を持って学びが進められるように、各社ともに1年生のスタートは大変工夫されています。

例えばですが、教育出版1年生の上をごらんください。

表紙を見開いていただいて、最初の1ページ部分をご覧ください。なかよしのきということで、両面、絵がございますが、次の2ページ、3ページに進んでください。あれ、という。そして4ページ、5ページ、みんななかよし、楽しいな。最初のページの木が、どんどん成長していきまして、たくさん子どもたちが遊びをする絵が描いています。

14ページをご覧ください。こちらは声の大きさ、どれぐらい、ということで、学校生活のさまざまな場面で、適切な声の大きさを考えることができるようになっております。

続きまして、30ページをご覧ください。「くまさんとありさんのごあいさつ」です。ここから始まる物語教材は、よく見ますと、くまさんが話すときは大きな「こんにちは」、大きい字になっています。一方で、ありさんが話すときは、「こんにちは」、小さな字になっていると。こういう工夫がございまして、子どもたちが実際に声を出して、読んだり、話すときに工夫がされております。

次に、光村図書1年生の上をごらんください。

こっちも表紙を見開いていただいた1ページ目から。1ページ表紙裏、「いいてんき」。そしてめくっていただいて、2、3ページ、次の図になります。そして4ページ、5ページ、さらに6ページ、7ページと。最後8ページに、いい天気、最高と続くのですが、これは、一続きのイラストとなっております。恐らく子どもたちが遠足に行ったときの様子でしょうか、子

どもたちと先生の楽しそうな様子のほかに、ネズミの一団が描かれております。このイラストの隅々まで、気づいたことや想像したことを言葉で、子どもたちがたくさん話せるように工夫がされております。

28ページをご覧ください。ここでは、2人ペアでの交流をする、そういう学びが紹介されています。

続きまして、100ページです。100ページでは、これは、1人の児童が、前でクラス全員に発表するようなスタイルとなっております。さまざまな国語の時間に伝え合って学んでいく、基本的な活動が身につく工夫がされています。

続きまして、東京書籍、1年生、上です。

同じく表紙、見開いた1ページ目をご覧ください。1ページ目から続きまして7ページまで。こちら、一続きのはっきりとした色使いのイラストと文字のページとなっております。

書かれている記述も、「とんとんとん」、「たんたんたかたん」。言葉のリズムです。そのおもしろさに気づかせて、国語が好きになるような工夫がされています。

続きまして、78ページをごらんください。このページでは、特に間違えやすい拗音を取り上げられておまして、具体的には、石屋、医者、このような違いを、ごらんのように手をたたいて、手の動きを見ながら、あるいは記号で、わかりやすくあらわしております。そういった工夫がございます。

以上です。

有馬委員

国語の勉強というのは、ほかの教科につながるものだと思うのです。もちろん本が読めなければ、ほかの算数や、理科とか、社会も読めないということになるのですけれども、そういったことで、国語の勉強が、ほかの学習や取り組みにつながって、活かせるような工夫のある教科書というのがありますか。

横田学校教育
部長

他の教科書との連携ということでございますが、どの教科書も、日常生活あるいは他の教科とのつながりを工夫されておられました。

例えば、グラフあるいは表、そして、そこから必要な情報を読み取って社会科につなげていく、あるいは、さらには総合的な学習の時間と関連づけられた工夫がございました。

例えば、学校図書4年生、上66ページをご覧ください。

手で食べる、箸で食べる、という教材がありますが、そこでは、外国の食の文化が取り上げられておまして、多様な文化を認め合うすばらしさなど、総合的な学習の時間とつながる教材が取り上げられております。

続きまして、東京書籍4年、上88ページ。体温計の広告なのですが、1ページめくっていただきますと、90、91ページ。同じ体温計の広告が違う表現の仕方で掲載されています。この2つの広告を読み比べまして、文章ではなく写真あるいはレイアウトから伝えたいメッセージを読み取るという、新しい教材が掲載されています。生活に関連した身近な表現の方法をテーマに、相手の意図を読み取ったり、情報を取捨選択するなどの効果的な資料が掲載されております。

次に、光村図書5年生、106ページをごらんください。尋ね人というページでございます。この物語につきましては、本市15小学校が訪れます修

学旅行の行き先である広島平和記念公園、原爆供養塔のことがテーマとなっております。1年後の6年生の修学旅行に行く前に、事前学習につながる、総合的な学習との関連も含めて学ぶことができる教材でございます。
以上でございます。

東野教育長

国語の教科書は、何でも、わかりやすいということが非常に重要かというように思っております。そういうことで、各教科書におきましては、文字やフォント、配置など、非常に工夫をされておられるのですが、例えば文章の内容を補うようにして、わかりやすくしているような工夫はどのようなものがございますか。

横田学校教育
部長

文章に加えまして、その読み取りの工夫がされている教科書ということですが、例えば、光村図書2年生の下39ページをごらんください。

馬のおもちゃのつくり方ということなのですが、次のページに、馬のおもちゃのつくり方の、これは説明文なのですが、上のほうに写真が、あるいは下のほうに図が載っております。

さらに、42、43ページ。こちらも全て説明の流れを、このページ見開きだけでも6枚、このようにして提示することによって、子どもたちが、今後、例えばですけども、さまざまなプレゼンテーションをする際に、写真を添付したパワーポイントの資料をつくるとか、そういうことのもとになるような学びが工夫されています。

あるいは、同じく光村図書6年生の48ページをご覧ください。時計の時間と心の時間ということですが、48ページの下にイラストがたくさんございますが、50ページには時間帯による時間の感じ方とか、科学的な思考を伴うグラフがございます。

そして、51ページには、これも実験2ということで図がございます。

このように、単に説明文のみではなくて、さまざまな資料を配置することによって、この筆者が書いている説明をわかりやすくすることがあると。あるいは、わかりやすくする必要があるのでというふうに子どもたちに学ばせます。

一方で、学校図書です。4年生上140ページをごらんください。これは、「一つの花」という教材でございます。4社とも同じ「一つの花」が、同じく4年生上でございます。戦時中のお話ですので、子どもたちにはちょっとなじみのない表現がございます。下段に、140ページですと、①配給についての説明がございますし、143ページには、軍歌の説明が下段にございます。144ページには、ここは、「とんとんぶき」の説明というふうに、これは全社ともに、全ての教材につきまして、子どもたちが身近にちょっとイメージしにくい文言につきましては注釈があるということでございます。このような工夫がされておりました。

以上です。

栗崎委員

ユニバーサルカラー、ユニバーサルデザインということで、とても美しいといえば美しいのですが、カラーについて、1年生の東書なんかでしたら、まだ目のほうがちょっとはっきりと、子どもたちの色がぼやっとしていたら見分けにくいのですね。はっきりとしたのが、東書なんかすごくきれいに黄色がばっと浮き出てきれいだったので、カラーでいいまし

横田学校教育 部長	<p>たら、非常にきれいな流れで、どこも来ているのですが、よりきれいというところはというのがありますか。</p> <p>このカラーバリアフリー、ユニバーサルデザイン、全社ともに、これは専門家が編集の際に、そこは意識をして作成しておられます。色調の違いはございます。同じイラストがありましても、濃い、薄いであるとか、色は違うのですが、全てにわたって私どもの調査した段階では、非常に見やすい仕立てになっているように感じております。</p> <p>以上です。</p>
東野教育長	<p>それでは、よろしいですか。</p> <p>それでは、他にご意見はないようでございますので、国語の教科書の採択について投票を行いたいと思います。</p> <p>それでは、ただいまから会場を閉鎖いたします。</p> <p>それでは、投票用紙の配布をお願いいたします。</p> <p>必ず1つだけ丸をお願いをいたします。2つはつけないでください。</p> <p>皆さん、ご記入いただきましたでしょうか。</p> <p>それでは用紙を投票箱のほうに投函していただきたいと思っております。</p> <p>それでは、投票の結果を発表いたします。小学校国語の教科用図書につきましては、4票で光村図書を採用することとなりました。</p> <p>それでは、次に書写のほうに入りたいと思っております。</p> <p>書写につきまして、何かご意見ご質問等ございますでしょうか。</p>
有馬委員	<p>書写の時間の授業数について、子どもが学校に通っているのですが、書写の時間というのが時間割りに書かれていないので、書写の授業の時間数はどれぐらいなのか、教えてください。</p>
横田学校教育 部長	<p>書写の授業の時間でございますが、硬筆と毛筆、この指導はともに国語の授業の中で指導することとされております。</p> <p>硬筆の指導については、全学年、1年生から6年生までです。一方で毛筆につきましては、3年生以上と示されておりまして、これは時間数も示されております。3年生以上で年間30時間ということでございます。3年生、4年生、5年生、6年生、全て30時間程度ということですので、おおむね週に1回程度、毛筆の時間があるというふうにお考えください。</p> <p>以上です。</p>
有馬委員	<p>ありがとうございます。</p>
田中委員	<p>今、硬筆その他につきましては、国語の時間内で授業を行うということだと思っておりますが、やはり1年生が入門で一番大事な時期だと思います。そういった観点から何か配慮されている教科書というのはいかがでしょうか。</p>

横田学校教育
部長

1年生の入門期の工夫は全社ともにされておりました。

いくつか例を示しますと、まず、東京書籍1年生をご覧ください。28ページの、とめ・はね・はらいですが、この書き方をネズミのキャラクターと、とめ・ぴた・はね・どんなどの擬態語を使いまして、わかりやすく表現がされています。

児童が自ら気をつけるポイントを、十分、理解できるような工夫がされておりました。

次に、光村図書1年生をご覧ください。2ページ、3ページに、書写体操とございまして、文字を書くときの姿勢を、写真で、イラストでわかりやすく説明しております。

4ページからが実際書くときの姿勢でございます。4ページ、5ページが姿勢、そして6ページ、7ページが鉛筆の持ち方、8ページ、9ページが手の動かし方ということで、基本的なことについて教科書のはじめのページを見ればいつでも確認できる工夫がされております。

次に、教育出版1年生、2ページです。こちらのはじめの学習としまして、字を書く姿勢、4ページの鉛筆の持ち方、5ページの持ち方合い言葉です。そして6ページは楽しく書こうというふうになっております。

特に8ページです。8ページには、先ほどもございましたが、とめるときは「ぴた」、払うときは「す」というふうに擬態語でわかりやすく説明されるとともに、キャラクターもわかりやすく配置してあります。

他社についても同様の工夫がございました。

以上です。

栗崎委員

きれいな字を書くということは、とても大切なことなのですけれども、私も、子ども食堂に行っていて、子どもたちが宿題を持ってくるのですね。そこで書いている字を見ましたら、5年、6年でも、すごくきれいな字を書いています。このきれいな字を書けるように、本当に普段の実生活とか、他の学習活動、そういうところでも、いろいろなことを工夫されていると思うのですけれども、指導という点から見ましたら、どのような工夫がされているかということをお願いいたします。

横田学校教育
部長

実生活とつなげた工夫ということですが、例を示しますと、日本文教出版5年生41ページをご覧ください。

このページは、エアメールの書き方を扱っておりまして、アルファベットもございます。38ページからが手紙の書き方、そして、40ページのエアメール、そして42ページに掲示物の書き方と、さまざまな日常生活で、この書写で学んだ美しい字を適切に描くということが実践できるように工夫がされております。

続いて、教育出版ですが、4年生をご覧ください。26ページ、27ページです。レッツトライというページで、理科のノートの書き方。実験の図あるいは表もつくりながら、わかりやすくまとめる方法が学ぶことができるようになっております。

特に横書きの文字のバランス、方眼ノートの使い方、その際の鉛筆の濃さ、かたさ、筆圧、左右にわたって書き方のポイントが学べるように工夫がされておりました。

栗崎委員	<p>他社にも同様の工夫がございました。とりあえず2つを、例を示させていただきます。</p> <p>以上です。</p>
東野教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>毛筆の指導が、大体3年生から始まるとお聞きしています。毛筆の指導の導入部分とか、また硬筆の指導とつなげた指導で、教科書でどこか工夫をされている点がございましたら教えていただけますでしょうか。</p>
横田学校教育部長	<p>どの教科書にも毛筆ですから道具、あるいは筆の持ち方、姿勢、片づけの仕方、筆圧のこと、丁寧に示されておりました。</p> <p>例えば、日文の3年生、10ページ、11ページをご覧ください。このページは、穂先のイラスト、あるいは朱書きの穂先で、視覚的にわかりやすく示されております。</p> <p>また、擬態語を使って、児童が覚えやすいような工夫もされていると。</p> <p>18ページをご覧ください。先ほど申しました朱書きの、先生が書いたようなページになっております。特に、これをさらに硬筆の学習で確かめるために、3、生かす、鉛筆で書こう、ということです。毛筆で書いた文字を、今度は硬筆で書くというふうにつないだ表現になっております。</p> <p>次に、学校図書の5年生30ページをご覧ください。縦に2ページ広げていただきますと、これ、実際の半紙の実物大になるということでございまして、そのままお手本にできるという工夫がされております。</p> <p>続きましては、33ページです。次のページ、こちらをご覧くださいますと、その書き方のポイント、そして硬筆の書き方のポイント、活かして書こう、そして振り返ろうというふうに学習が設定されております。</p> <p>以上です。</p>
和田委員	<p>今、例示をしていただいたのですが、書写の授業、毛筆の授業の中で、この教科書を使う頻度というか、先生が見本を書いて、それをやるのか。教科書を見ながらやるのか。直接かかわっておられないかもしれないですけど、推測で結構ですので、教えてください。</p>
横田学校教育部長	<p>基本的に、教科書を用いた授業を進めていくわけですが、場合によっては教科書に載っていない文字を特別に書かせるということもございますので、その場合は、もちろん別途、見本を子どもたちに与えて書かせるということになります。</p> <p>基本的に毛筆ですので、横に見本、手本があつて、それを書くというのがベーシックな授業ですので、基本的には、この教科書を使うということでございます。</p>
東野教育長	<p>よろしいですか。</p> <p>それでは意見がないようでございますので、書写の教科書の採択について投票を行いたいと思います。</p> <p>ただいまから、会場を閉鎖いたします。</p>

それでは、投票用紙の配布をお願いいたします。

よろしいでしょうか。それでは用紙のほうを投票箱のほうに投函をお願いいたします。

それでは、投票の結果を発表いたします。小学校書写の教科用図書につきましては、6票で、日文社を採用することとなりました。

次に、社会科を審議いたします。社会につきまして、各委員からご意見ご質問等ございましたら、お願いをいたします。

栗崎委員

社会科では、世の中の仕組みについて学ぶと思うのですが、これからの子どもたちにとって、学びやすく、関心が高く学べる工夫がある教科書というのはありますか。

岡林学校教育
部次長

現代の世の中について関心を持って学ぶためには、社会にある問題を、自分にも関係のあることだと考えて学んでいく、そういった仕掛けが非常に重要となってまいります。

それに特徴的なものでいきますと、教育出版の3年生、90ページをご覧ください。

これにつきましては、工場とかお店で働く人と自分たちの生活についての関連を学習した後、実際にお店の人になったつもりでチラシづくりという活動を行っていく。最後のまとめる、自分たちが学んだことを使って、さらに学習を広げて深めていくという、単元の流れの最後の部分なのですが、これで発表し合うという設定を行っていきます。学んだことを自分たちが本当に実際にお店の人になったつもりで、どうしていくかということを考えていくものです。

89ページに戻ってください。ここには、さまざま学習の、こういったつながり、それから、一番下の感想、農家の人の努力や地元の作物のよさを多くの人に知ってもらいたいと、こういった感想に基づいて、90ページの学習につなげていくというものです。働く人の努力や生産物のよさを、自分の問題として、どう捉えて表現していくか、話し合っていくかといった学習につなげていくものです。

東京書籍も見ていただきたいと思います。5年生の下、97ページをご覧ください。

東京書籍は、はじめにつかむ、要は学習課題をつかんだ後、調べる、そして、まとめる、学習したことを生かすという一連の流れになっております。これでいきますと、子どもたちが日頃から接している情報について学んだ後、情報を活用する上で、大事だなと思うことを話し合っまとめる。そして、その後、情報活用の宣言、これを作成する活動を通して、自分の生活にも情報を活用していく。そのために何が大事なかなということ、自分のこととして学ぶという仕掛けがございます。これは、単元ごとに設定されております。これが東京書籍です。

もう一つ、東京書籍4年生の173ページをご覧ください。これも、特色ある地域と人々の暮らしということで、特徴のある地域とその人々の暮らし

を学んだ後、調べたことで4こまのCMづくりをしていくものになっています。

175ページをあけていただきますと、このCMづくりにつながってまいります。これは、特徴やよさをまとめる学習を行った上で、県外の人に、自分が学んだこと、その地域の特徴を、どうやって人に知らせていったらいいかということ学んでいく仕掛けになっております。学んだことを、必ず自分のこととして考えられるような、そういったような学びができるような工夫がされております。

ほかの教科書会社でも、同じような工夫はされているのですが、特徴的なことを説明させていただきました。

以上です。

田中委員

今、ご説明していただいたことと重なるかもしれないのですが、昔我々が習ったような、都道府県や年表を覚えるような詰め込み的な学習だけではなくて、子どもたちが自分から課題を見つけて学習していく、そういった工夫をされているような教科書というのですか。そういった形の評価というのはどうでしょうか。

岡林学校教育
部次長

先ほども見ていただきましたが、東京書籍の4年生56ページをご覧ください。

先ほどのご質問にもありましたように、自分たちで課題を見つけて学習していくというような流れ、この東京書籍は、先ほども申し上げたように、つかむ、そして調べる、そしてまとめる、活かすという一連の流れになっています。

ごみの処理と利用という單元なのですが、56ページの一番左端に、つかむということが書かれているかと思えます。家でのごみを、どのように出し、出されたごみがどのように収集されていくのでしょうかという学習動機を示されていて、その後、59ページをご覧ください。学習の問題が書かれています。ここには、分別して出され、収集されたごみは、どのようにして処理されるのかという、改めてここで、この単元の学習課題が示されています。そこにたどり着くように、この流れが設定されています。

その後、60ページを見ていただきますと、調べるという学習が続いていきます。70ページになりますと、まとめる。この、まとめるも吹き出しで、4人の子どもの言葉があるのですが、自分がどの観点でまとめていくかというのが考えられるような工夫がされております。

そして、先ほども申し上げた72ページの活かすという流れになっています。これで、子どもたちが單元の中で、自分で問題を見つけて学習していけるような工夫がされているということです。

74ページを見ていただいたらわかるのですが、やはり非常に写真が大きくて、すっきりと見やすくなっています。子どもたちが、1時間の学習をどうやって、どんな学習をするのか、割と見通しやすい設計にはなっているかなというふうには思います。

それでは、日本文教出版に移っていきたいと思います。日本文教出版5年生の90ページをご覧ください。

水産業が盛んな地域という学習になります。これも東京出版と同じように導入があって、調べて、まとめて、考える、深めるという流れになっていま

す。90ページの一番左側です。女の子が、はてなという絵があるのですが、私たちはどのような水産物を、どれくらい食べているのだろうかというふうに、導入で考えさせていく工夫がございまして、93ページとか99ページ、子どもたちが節目、節目で、考えていくような流れがあるのです。女の子と男の子の4人の吹き出しがあるのでありますが、このように、学習の節目、節目で話し合ったり、意見を出し合ったりすることを促すような工夫があります。

99ページの一番下、さらに考えたい問題というものが設定されていて、学んだことを使って、さらに深く考えていくような工夫がされています。

118ページをご覧ください。左の一番下、見方、考え方と載っているのが文教出版の特徴です。多面的な見方ができるようにというコラムで、さらにいろんな見方をしてみようというような工夫がされています。

特徴的なものを2つ紹介させていただきました。以上です。

田中委員

さまざまな資料や情報をつかんで、それをどう考えていくかということが子どもたちにとって重要になってくると思います。例えば災害の問題に関しては、何か特徴的な教科書はありましたか。

岡林学校教育
部次長

災害については、どの教科書も大きく取り上げておられます。

災害については、やはり写真などを掲載しています。日本文教出版であれば5年生の264ページです。

5年生で災害を扱うという教科書が多いのですが、東京書籍であれば、5年下の100ページをご覧ください。見開きページで、災害のことについて、防災という観点で扱っていたり、教育出版の5年生204ページから、自然災害とともに生きるという話、単元が始まりまして、そこから後は、災害について、防災に関して学ぶような、ページ数を多くとって学習できるような工夫がされています。

ほかにも、災害についてはたくさん扱われております。

田中委員

ありがとうございます。

東野教育長

ほかに何かご意見はございますか。

他に意見がないようでございますので、投票に移りたいと思います。ただいまから会場の閉鎖をお願いいたします。

それでは、投票用紙の配布をお願いいたします。

それでは、投函のほうをお願いいたします。

それでは、投票の結果を発表いたします。小学校社会の教科用図書につきましては、4票で、東書を採択することとなりました。

それでは続きまして、地図に移りたいと思います。

地図につきまして、何かご意見ご質問等ございませんでしょうか。

有馬委員

地図や資料の活用という点から、初めて地図を扱う子どもたちにとって使い勝手がよい教科書、地図帳というのはありましたか。

岡林学校教育
部次長

地図に関しましては2社ございまして、東京書籍、それから帝国書院、両方とも、やはり子どもたちにとって非常にわかりやすくつくられているとは思いますが。

東京書籍をご覧いただきたいと思います。例えば35ページを開いていただくと、これは京都市の中心部を大きくしたもののなのですけれども、東京書籍の特徴としましては、社会科の教科書との一体化を目指しているような工夫がされています。地図ページの中で、こういったまとまりのある学習ができるような構成ですし、教科書の学習内容に合わせた地理的な場所も、割と情報が豊富にあるのが東京書籍の特徴です。

例えば47ページもご覧いただいて、こういった首都東京ということで、写真つきで学習ができるような工夫がされています。

例えば、64ページであれば、ヨーロッパについても、地図なのでも、いろいろな料理とか、横に写真もついて教科書と一体となって学習ができるような工夫がされています。

次に、帝国書院を見ていただきたいと思います。これも非常にすっきりと、子どもにとって見やすくつくられています。

例えば、帝国書院20ページをご覧いただきたいと思います。この一番上のインデックスがあるのですが、広く見渡す地図とか、きれいにわかりやすく設定されています。これは、広く見渡す福岡の地図なのですが、もう少し詳しく、広い部分で見たいなと思えば33ページを開くとわかりますし、もう1ページ開いていただいて、これは35ページ、九州地方北部というインデックスがあるかと思いますが、こういう形でも学習することができますので、子どもたちにとって調べる、どういう用途で見たいかといったときに、このインデックスを見ながら調べることができます。

索引がやはり見やすいので、例えば87ページから、ここからが資料のページになります。一番右の下の方に、資料図と書いてありますけれども、この資料も豊富についていまして、自然の様子であるとか、いろんなデータが載っていますので、社会科だけではなくてさまざまな学習のときに資料として使うことが可能になっています。

以上です。

和田委員

今回、2社しかないということなので比較になってしまうのですが、2つ見させていただくと、いろんな情報を載せているものと、そうでないもの、割愛されているというか、割とコンパクトにされているものがあるのですが、小学校の先生として使いやすさというのですか、そういった観点でいうと、どちらのほうがいいのかを教えてください。

岡林学校教育
部次長

初めてこういう地図帳に触れるときに、たくさん情報量があるよりも、すっきりと見やすいほうが、整理されたほうが使いやすいかなと思います。これは3年生から6年生までずっと持ち上がりますので、それを考えたときには情報量が余りにも多過ぎるのもどうかとは思いますが。

以上です。

栗崎委員	<p>関西や、大阪、特に松原がよりわかりやすく載っている地図はどちらですか。どちらも載っているかと思えますけれども、よりわかりやすくです。</p>
岡林学校教育 部次長	<p>特徴的なのは、帝国書院になります。帝国書院の7ページをご覧ください。世界遺産にもなりました百舌鳥・古市古墳群ですけれども、その中の大山古墳が中心になった地図で、地図の見方を最初に学ぶような仕掛けになっておりますので、関西の子どもたち、大阪の子どもたちにとっては地図ってどんなふうに見たらいいんだろうと学ぶには、より興味を持って見られるかなと思います。</p> <p>それと、これは、例えば東京書籍の34ページと、帝国書院の46ページを比べていただくと、これは50万分の1の地図です。ここには両方とも松原市が載っているのです。ところが、100万分の1の比較で比べると、東京書籍のほうには松原は載っていませんけれども、帝国書院のほうには、松原が載っているという違いがございます。</p>
栗崎委員	<p>ありがとうございます。</p>
東野教育長	<p>ほか、ご意見ございますか。よろしいでしょうか。</p> <p>意見がないようでございますので投票に移りたいと思います。議場の閉鎖をお願いいたします。</p> <p>投票用紙の配布をお願いいたします。</p> <p>それでは、投票をお願いいたします。</p> <p>投票の結果を発表いたします。小学校地図の教科用図書につきましては、6票で帝国書院を採用することとなりました。会場の封鎖を解いてください。</p> <p>次に、算数の教科について審議いたします。算数につきまして、何かご意見ご質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。</p>
田中委員	<p>算数なのですけれども、小学校では算数という言葉を使う。要は、数というものに親しみを持つという意味だろうと思うのですけれども、それが中学校、高校となってくると数学と名前が変わってくる。これは思考能力というのですか、考え方とか、そういったことを伸ばすということだろうと思います。数学においては、回答は1つ、答えは1つなのですけれども、そこに行き着くまで、いろいろなルートがあるということ、要は、思考、考え方です。こういった観点を踏まえての教科書というのですか、評価としてはどうなのでしょうか。</p>
岡林学校教育 部次長	<p>評価の点では、どの教科書も、やはり数学的な考え方や思考を深めるような工夫がされていますので、そういう意味では、どの教科書も優れていると思います。</p>

特徴的なものをご紹介させていただきたいと思います。

東京書籍の3年生の下10ページをご覧ください。小数を学んでいく、小数の仕組みと、足し引きが少数であってもできるのだということを学んでいくのですけれども、0.1ということをもとにして、少数というものを捉えること。目に見えるようにした工夫がございまして、0.1をもとに小数を捉えるということは、今後の数というものが、数って1、2、3、4、だけじゃないんだというふうに広がって、子どもたちが学んでいく上で非常に重要な事項なのですけれども、ここの中では、ワークがついていまして、例えば、10ページの真ん中、まとめとありまして、0.1をもとにして、3足す2の計算で考えることができるよと示されています。

こんなふうに考え方を示して、これをもとに、さまざまに子どもたちが学んでいくような工夫、このマークが繰り返し、例えば11ページも出てきますし、そういった、例えば12ページを開いていただいたら、女の子が0.1をもとにして考えるという吹き出しが出てきます。こんなふうに、子どもたちが考えるもと、いつでも何に立ち戻って考えるかということが示される工夫があって、数学的な考え方をどんどん蓄積していくような工夫がされています。

東京書籍は1年生、別冊がついていまして、これは、この教科書の特徴になっています。子どもたちは、先ほど3年生は0.1をもとにして考えていくのですが、その大もとが、1年生でして、子どもたちがタイルを使って量感を学んでいくのですけれども、これは大きいA4サイズの教科書になっています。実際に4ページを開いていただくと、これを開いたまま、ここに実際のタイルを乗せて、子どもたちは手を使って量をつかんでいくような学びができるものです。

机の上、1年生、いろいろな物が置いてあると、なかなか勉強しづらいのですが、これだと1ページ、ぱんと開いて、子どもたちがほかのものを置かずに学習することができるという工夫も、この東京書籍にはございます。

では、次の教科書、啓林館をご覧ください。啓林館の5年生の206ページをごらんください。これも、目当てがしっかり赤で示されていて、調べたいことを決めて、調べ方や整理の仕方を考えようと書いてあるのですけれども、この啓林館は、こういう目当てというのが、はっきりと赤で示されています。何を今から考えていくのか、示されていますので、例えば206ページでしたら、どういう手順で考えていくかということも、自分で考えて、問題を解決するような仕掛けもあります。

同じ啓林館6年生の17ページを見ていただきたいと思います。啓林館の特徴は、次の学習のためにということで、次に学習する前に今まで学習したことを、もう一度復習して、今度はまたこれをもとにして、また考えていけるような工夫もされていますので、これも数学的な考え方、思考力につながるような工夫が、子どもたちの発達段階に応じて、学習の過程に応じて学べるような工夫がされています。

それから、大日本図書の3年生80ページをご覧ください。発見、考え方というマークがあります。これも特徴的ですし、考え方です。何十、何百のかけ算の答えは、十や百をもとにして考えます。何をもとにして今から考えていくのかというふうに示されています。

82ページをご覧ください。これも、発見、考え方ということがきちっと示されていて、2を30と2の位ごとに分けて考えます。ほかの考え方にも

栗崎委員	<p>適用できるような、そういう考え方が示されています。 そういった特徴的なものをご紹介させていただきました。 以上です。</p>
岡林学校教育 部次長	<p>昔から、読み、書き、そろばんというように、やはり算数というのは、生きていく上でとても大切なものですが、今、この3年生を見せていただいたときに、本当に実生活で使えるような教え方をしているなと思いました。ほかの教科書では、どのような関連性を持たせるように工夫していますか。</p> <p>各教科書とも、日常生活で算数の学習を積極的に関連づけて考えられるような工夫がされています。 学校図書の6年生102ページをご覧ください。これは、さまざまな日常にあるマークをたくさん並べているのですが、対称な図形、線対称、点対称を学んだ後、日常生活にもそのようなものがあるので見つけてみようということで実生活に学んだことを生かす工夫がされています。 それと、教育出版の4年生の上70ページをご覧ください。これも角を学んだ後、階段の傾きが何度かなとか、滑り台や、身の回りにあるものも、こうやって角度を調べることができる、調べてみたいなということを促しながら学んだことを生かしていく、関心を持って、もう一度学んだことを振り返るような工夫がされています。 以上です。</p>
栗崎委員	<p>ありがとうございました。</p>
佐野委員	<p>来年度から、小学校でプログラミング教育がスタートするようですが、特徴的なものはありますか。</p>
岡林学校教育 部次長	<p>プログラミングは、来年度から実施ということで、まだ教科書会社では多様なものはなかなかないのですが、特徴的なものとして、大日本図書の5年生の250ページをご覧ください。 これは、この大日本図書の会社のホームページからソフトをダウンロードできまして、それを教室のパソコンなどで動かしながら、自分で命令のボタンを選択しながら、正多角形を描いていくというものです。プログラムを体験するというよりは、プログラムされたものを動かしていくというか、その仕組みについて考えながら学ぶことができる工夫がされています。 もう一つは啓林館の5年生、236ページをご覧ください。 左上のほうにQRコードがついていて、これを読み込むと、正多角形を描いていくというソフトがダウンロードすることができて、例えば松原市でタブレット、1教室分、全校に配置されていますので、それを使って、個別に自分で動かしてみることもできますし、グループで考えながらもできますので、非常に手軽に子どもたちと一緒に先生たちも、教材として活用できる工夫がされています。 以上です。</p>
和田委員	<p>大日本図書は、先ほど全体に掲示するというお話であって、啓林館は個別</p>

	<p>にというお話だったのでですけど、大日本図書は、個別に使うということではできないのですか。</p>
岡林学校教育 部次長	<p>可能かと思います。ダウンロードしないといけないので、QRコードだとすぐにできるのですけれども、子どもたちにダウンロードだけ先にできるように仕掛けておけば、可能かなと思います。</p>
和田委員	<p>QRコードがあることで、より身近にというか、やりやすいということでは理解したらいいですね。</p>
岡林学校教育 部次長	<p>はい。</p>
和田委員	<p>わかりました。</p>
東野教育長	<p>算数の教科書で今、QRコードが結構出てきたと思うのですけれども、そのQRコードでは、各教科書会社で何か特色的なものがあるのかどうか。それとも、大体、各社同じようなものなのか。それについて教えてください。</p>
岡林学校教育 部次長	<p>QRコードは、実は算数だけではなくて、さまざまな教科で使われています。やはり教科の特性があるので、授業の中で使いやすいか、使いにくいかというのは、教科、単元によるかなと思います。</p> <p>特徴的なのは、啓林館になります。例えば、啓林館5年生16ページをもらってください。このQRコードが5年生16ページに2つついていたりしますので、対応されているかなというふうに思います。やはり啓林館が一番そういう意味では対応されているかなと思います。</p> <p>以上です。</p>
田中委員	<p>今、啓林館5年生の教科書を見せてもらっているのですけれども、単元ごとに、終わったら練習問題というのですか、復習問題というのですか、これは各社ともこれぐらい、この程度のものなのでしょうか。</p>
岡林学校教育 部次長	<p>例えば、6年生の終わりなんかで、最後のほうに、こういった自分のペースで学習できるようなページがあります。</p> <p>例えば、教育出版の6年生の258ページですと、ここから学びのマップということで、5年生までに使ってきた算数の見方ということが示されていて、こういったことを見ながら学習することもできますし、例えば、東京書籍6年生の241ページ、補充問題とチャレンジの問題があって、これは全部できなくていいから、自分で考えてやってみようというページになります。補充問題もあれば、それから発展的な問題、チャレンジしたい問題もあって、自分たちで学んだことを、どこまでできるかなと確かめながらやることも可能です。</p> <p>例えば、日本文教出版の6年生の241ページの算数マイトライというものがある、これも、しっかりチェック、基礎的なものから、ぐっとチャレンジ、もっとジャンプというふうな、自分の興味、それからもっとやりたいという意欲をかき立てるような工夫がされています。</p>

東野教育長

以上です。

ありがとうございました。ほかに何かご意見ご質問ございますでしょうか。

よろしいですか。

ないようですので、投票を行いたいと思います。

議場の閉鎖をお願いいたします。

それでは、投票用紙の配布をお願いいたします。

それでは、投函をお願いいたします。

それでは、投票の結果を発表いたします。小学校算数の教科用図書につきましては、4票で、東京書籍を採用することとなりました。

会場の封鎖を解いてください。

それでは、時間が長くなりますので、ここで休憩をとりたいと思います。

3時15分まで休憩とさせていただきます。よろしく申し上げます。

東野教育長

それでは、会議に戻りたいと思います。

次に、理科の教科について審議いたします。

理科につきまして、何かご意見ご質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。

栗崎委員

今問題になっている、環境問題や防災に関連するような工夫はありますか。

横田学校教育
部長

今ご質問の記述がございますので、それぞれ掲載ページを確認させていただきます。まず東京書籍ですが、6年生の190ページ以降が人と環境とのかわりということで、シリーズで取り扱っているページが、最終的に200ページ、地球に生きるというところまで、さまざまな環境問題が取り上げられております。

次に、大日本図書5年生でございます。これは巻末の付録を見ていただきたいと思います。5年生の裏表紙の1ページ手前です。

黄色い「災害に備えようブック」ということで、これは切り取って、実際に災害時に避難場所等を保護者、ご家族が確認して行動につなげるというカードになっております。とりわけこの本文のほうにも、さまざまな防災行動につながるような取り上げがありまして、ESD、環境、防災とさまざまなマークがついて記述がございました。

次、学校図書3年生、99ページをご覧ください。こちらは、ソーラークッカーをつくろうということで、実際、防災、避難場所等でこのような簡易的なクッキングの方法があるということを示しております。これで、お湯が沸かせるというようなことになるかと思えます。別のページでも、さまざまなこの防災に関する記述がありますが、特にここの実験のところ、暮らし

に生きる防災というマークがついていたり、QRコードをかざしますと、この実験についての具体的な手法が見ることができました。

次に教育出版6年生、230ページをご覧ください。ここからは環境ミニ図鑑となっております、235ページまで、さまざまな身近な生き物、生物の環境に関する学びがございます。

最後に啓林館ですが、5年生56ページをお開きください。こちらにつきましては特設の章単元としまして、59ページまで暮らしページということで、さまざまなほかの箇所にも系統的な防災について学習できるように、4年生、6年生にも同様のコーナーがございました。

以上、全ての教科書について工夫がございました。
以上です。

佐野委員

理科といえば、子どもたちが興味を示すのは本も大事ですが、やはり実験や野外での観測だと思います。私もそうだったのです。各教科書はどんな感じで、その辺を取り扱っておられますか。

横田学校教育
部長

では、お手元のピンクのファイル、大阪府教育委員会の選定資料の理科の最後のページをご覧ください。

理科の最後のページ、23ページ、こちらの表の2段目に、各社の教科書が取り扱っている、観察実験等を扱った箇所数というのがございます。信州教育出版社につきましては見本が大阪に届いておりませんので確認できておりませんが、これは大阪府教育委員会がつくったものですが、合計数、観察実験調査を合計しますと、東書126、大日本125、学図132、教出129、信教は省略します、啓林館127ということで、どの社も130前後の観察実験調査が掲載されています。

とりわけ松原市の子どもたちは観察実験に大喜びで、実験となるともうわくわく、朝から今日は実験だと言っている現場がありますので、このように豊富に実験が取り扱われているのは非常にありがたいことだと思います。

参考までに1つの実験にちょっと注目して比較をしました。いわゆる唾液の消化です。でん粉の消化の実験につきまして、各社どのような違いがあるかということ、ひとつ紹介します。

東書の6年生35ページです。これは唾液の消化の実験ですが、男の子のイラストがありまして、口にストローを加えて試験管に唾液を出すという方法です。

大日本図書6年49ページです。大日本もポリエチレンの袋に入れるのですが、やはりストローを使って口から唾液を入れる手法をとっています。

学校図書6年生34ページです。学校図書も、やはりストローで試験管に唾液を入れています。

次、教育出版の6年39ページです。教育出版もやはりストローで試験管に唾液を入れるということをやります。

最後に啓林館6年生27ページです。この啓林館のみ、ご覧のように綿棒を口に加えて、その綿棒の綿に唾液を含ませてそれを使うということです。現場からはなかなかこの唾液をストローから出すときに恥ずかしがって、思春期の子どもたちが出せないということですので、そういった実態を踏まえた工夫であるとも言えますが、どの教科書になってもこの手法を使うことも可能ですので、1つのアイデアかなということ。

和田委員	<p>ほかにもいろんな実験、同様の実験についてそれぞれ各社の工夫があるという違いもございます。ただ、冒頭の質問にございましたように実験観察につきましても、大変豊富にこのように取り扱っているということで報告いたします。</p> <p>以上です。</p>
横田学校教育部長	<p>巻末に付録のような形で、例えば人体のものとか、あと星座とかが入っているものがあるのですが、こういう付録的に、巻末についている教材というのは、実際現場では使うときにはどのような感じなのか。よく使われるのか、それともあまり使わないのか、子どもたちの実態も踏まえて教えてください。</p> <p>それぞれの学校の理科室にあります教具がどれだけあるかということがございますので、巻末に付録としてありますものよりも、学校の教具のほうが優れている場合は、そちらを使うほうが有利でしょうし、あるいはこの巻末に付録として取り扱われているもの、そういった教具が学校にない場合は進んで使われると思います。</p> <p>例えば、啓林館の6年生などですと、巻末の付録に、月の満ち欠けモデルということで、月のそれぞれの部分を起こしていただくと内部から月の形が浮き上がってくるというようなものですが、こういった教具は実は学校にある場合とない場合がございますので、もし学校にこの教具がなければ、これを利用することが必要になってきます。</p> <p>ですので、学校の実態に応じて、巻末の付録を使うほうが子どもたちにとってわかりやすいのかどうかということによって判断することになるかと思っております。</p>
和田委員	<p>プログラミング教育について先ほど算数でも質問がありましたが、理科でもプログラミング教育はやる必要があるとなっているのですが、そのあたりで工夫されているものがありましたら教えていただけますか。</p>
横田学校教育部長	<p>理科でもさまざまなプログラミング教育についての掲載がございました。全社ともにそれぞれの教科書の取り扱いがございましたので、例えばですが、全ての教科書でプログラミング教育を取り扱っている教材があることは確認しております。具体例は探すのに時間がかかりますので、一旦あったということで報告させていただきます。</p> <p>紹介いたします。教育出版6年生の212、213ページをご覧ください。このページがプログラムを作成して、コンピューターで命令を出してみようということでございまして、信号の点滅等についてもそういったものが活用されているという具体例も示されております。</p> <p>他社にも同様のプログラムの見本がございました。</p> <p>追加でご紹介します。啓林館6年生の巻末の付録です。先ほど見ていただいた月の満ち欠けモデルの次のページに、プログラミング用シールということで、これを利用したプログラミングの学習に取り組むというふうになっております。</p> <p>それから東書のほう、3年生154から158ページです。これも実際、この取り組みの内容が計測であったり、正誤の考えに基づいた活動というこ</p>

東野教育長	<p>とで、論理的思考力ということで、直接パソコンを使っておりませんが、プログラミング的思考を考えさせる、そういうコーナーもございます。</p> <p>ほかにも全社、取り扱いがございました。</p> <p>以上でございます。</p>
横田学校教育部長	<p>理科は観察・実験が、非常に多くあると思います。特に実験は安全性が非常に求められるもので、それについてどのように配慮されているか、また実験の方法について特徴的な工夫がされているかどうかを教えていただけますでしょうか。</p> <p>全社ともに実験時の安全対策についてはかなり重視されていまして、例えば啓林館ですけれども6年生の106ページです。</p> <p>これは特に塩酸を利用する実験ですので、ごらんのように眼鏡をかけまして、その上にマークで保護眼鏡、換気、廃液、注意マークがございます。注意事項として赤字で書かれています。隣のページも同様の記載がありますので、この啓林館にかかわらず、特に失明ややけどなどの大きなけがにつながるような実験についてはさまざまな注意喚起がなされております。</p> <p>東書ですと、例えば6年生の41ページです。これは、吐いた息を石灰水で調べる実験ですけれども、この右側、実験2に、気体検知管の使い方、これを誤りますとこれもガラスでできていますので、けがをすることがございますので、危険ということで注意事項が書かれています。念のために眼鏡をするということも書かれています。</p> <p>他社も、特に危険を伴う実験につきましては明確に注意がなされております。</p> <p>もう1社、学校図書ですと5年生151ページ。これは、食塩とミョウバンの溶け方を実験するのですが、熱湯を使いますのでやけどをしないようにということで注意喚起がございます。</p> <p>全社において同様の注意喚起がございましたのでご報告します。</p>
東野教育長	<p>安全なのはわかったのですが、あと実験等の仕方等、QRコード等を利用されている教科書というのは大体どうされておられるか、どこか特徴的なものがあるか。</p>
横田学校教育部長	<p>例えば啓林館ですと6年生です。いろんなページがございますから、例えば159ページ、てこの実験のまとめの部分にQRコードが付されています。まとめの段階でこの動画を見ることによって、より子どもたちが理解を深められるということになっています。それぞれ他社も見ましたところ、啓林館がこのQRコードを付しているということでございます。</p>
田中委員	<p>どの教科書もイラストや写真などを多く使って本当に見やすい教科書になっているのですけれども、その辺はもう各社優劣はつけがたいと考えていいですか。</p>
横田学校教育部長	<p>ただいまの質問ですけれども、各社ともに全ての教科がユニバーサルデザインに大変配慮した教科書です。とりわけ理科で言いますと、学校図書以外の4社がユニバーサルデザインフォント、略してUDフォント、いわゆる見</p>

やすいフォント、文字を採用していると裏表紙に明記しております。学校図書さんも十分、使用されているフォントにつきましては見やすいフォントですが、分類すると学校図書以外の4社はユニバーサルデザインフォントを活用しているということを明記されておりました。

1つ追加でよろしいですか。先ほどのQRコードですが、学校図書の6年生194、195ページ、こちらはプログラミング教育の仮想のページですが、このプログラムをつくるページということで、このQRコードで実際にプログラムをつくることができるとなっておりますので、他社の中にも全ページにわたってといいますか、全単元にわたってではありませんけど、このように必要なところに付している例もございます。

以上です。

東野教育長

ほかに、ご意見ありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

他に意見がないように思いますので、それでは投票に入りたいと思います。

それでは、議場の閉鎖をお願いいたします。

それでは、配付をお願いいたします。

投票をお願いいたします。

それでは投票の結果を発表いたします。小学校理科の教科用図書については、4票で啓林館を採用することとなりました。

議場の閉鎖を解いてください。

それでは続きまして、生活の教科について審議をしたいと思います。

それでは生活について、何かご質問がある方、どうぞよろしくお願いいたします。

田中委員

生活科というのは地域の方との交流や体験も必要になってくると思うのですが、そういった観点から特徴的な教科書というのはありますか。特にこの松原市ではセーフティコミュニティとか、そういったことで取り組んでおりますので、その辺をお聞かせください。

岡林学校教育
部次長

それでは、どの教科書も地域を扱うという単元がたくさんあるのですが、啓林館の上の96ページをごらんください。これは松原市の小学校で多く行われているのですが、お年寄り、高齢者の方から昔の遊びを学ぼうということで、こういった地域の方との交流、活動の場面が載せられているのが啓林館です。

そして、そのまま啓林館の下の34ページをご覧ください。ここから町の探検をしていくという単元になるのですが、町の方にインタビューをしているのですが、そうやって町の探検をした後、78ページをご覧ください。もう一度町の人にインタビューしようとなります。これは続いて、積み上げていく学習なのですが、この町の人にインタビューをしようの中に、見

守り隊になったのはなぜですかと質問をしたり、どうして大谷焼をつくっているのですかという町の人思いに触れるような町探検の工夫がされているのが啓林館になります。

同じように他の教科書にも、そういう町探検をして地域の方と出会うという工夫があるのですが、教育出版の下30ページをご覧ください。これは町に出かけようということで、地域の仕事の場所に注目して人との出会いを設定しています。

64ページをご覧ください。これもこの下の最後にインタビューをしようということで、町の人にもう少し近づいてインタビューをしていくのですが、これも職場の人というか、職場に着目をした活動的な工夫がされています。

日本文教出版の下14ページをご覧ください。日本文教出版は、まずは身近な公共施設に目を向けさせます。身近な公共施設に目を向けた後、68ページをご覧ください。これも仕事場ですね。仕事をされているから、その仕事場にもう一度インタビューをしに行くのですが、これも先ほど教育出版と同じように割と仕事場に注目させて、活動的な場面を設定しております。

東京書籍の下28ページ、これも仕事をされておられるような町をよく見かける方にインタビューをしていく、町を探検しようということで、64ページに移ってください。東京書籍のほうは、施設に今度は目を移しているという特徴があります。

啓林館は町を探検して、最後は見守り隊であるとか、町の人思いに寄り添っていく工夫がされています。教育出版、日本文教出版は割と仕事場という、そして東京書籍はその場所というか、そういうものにもう一度目を向けさせていくような工夫があります。それぞれに活動的な場面を入れた工夫があります。

以上です。

和田委員

特に生活科というのは、1年生、2年生が学ぶところなので、非常に子どもたちにわかりやすい、親しみやすいということが大事だと思います。またそれだけじゃなくて活動というか、自分たちでいろいろ調べてみる必要があると思うのですが、そのあたりで特に1、2年生だからということで、かなり工夫されているなど感じる場所がありましたら教えていただけますか。

岡林学校教育
部次長

やはり生活科は活動的な、体験的な活動を通して学ぶということが非常に重要視されている教科です。どの教科書も工夫されていますが、学校図書の下52ページをご覧ください。野菜を観察するだけではなくて、野菜新聞を作ったり、もう一度、活動的な場面を自分たちで振り返って次の活動につなげたりするような工夫がされています。

同じ学校図書の下、86ページをご覧ください。これもおもちゃ大会をしようということで、みんなで遊ぶと楽しいねと、自分たちでつくった遊び道具で仲間と一緒に遊ぶ、振り返りカードがあって、その中を読めば、こういう学びがあるのだなということにも気づいたり、自分たちでも振り返ってみようという工夫があります。

啓林館の上22ページをご覧ください。わくわく・いきいき・ぐんぐんという3つの単元の構成になっています。わくわくでは、いろんな植物に関心

を持って、そのままめくっていただくと、種から双葉がはえて、つぼみができて、そして花が咲く、また種になる、というような一連の流れが22ページから次々とめくっていただくと、左端に写真を載せて変化がわかるようになっていきます。

またもう一つは、24ページをめくっていただくと、ここからいきいきという単元の次の構成になります。わくわくは周りが緑で囲われています。そしていきいき、実際に活動していく場面になりますと、周りがピンク色で示されていて、わかりやすくなっています。

そしてぐんぐん、32ページ、見つけた秘密を伝えようということで、振り返っていくような設定、これは青色で示されています。そういったように、活動を一連のものとして見ていく工夫がされています。

それからフォントがユニバーサルデザイン、どれもフォントの太さが全部同じなので、非常に見やすいフォントの工夫になっています。見開きも写真が大きくてすっきりと見やすい、そういうデザインになっています。

光村図書の下20ページをご覧ください。これも写真あります。これもホップ・ステップ・ジャンプという単元を3つの構成でつくられています。

ホップでは、動機づけで先ほどの啓林館も同じですが、実物大の同じ大きさの写真が野菜等載っていきまして、22ページをあけていただきますと、実際に育てていく、そして最後、ジャンプが32ページ、たくさんとれたね、おいしかったねということで振り返っていくのですが、この教科書の特徴は105ページをご覧ください。ぐんぐん育て、おいしい野菜というふうに黄色の丸囲みがあるかと思いますが、これで振り返ったことを自分の言葉で書いて、そのまま33ページに張って記録をすると、ポートフォリオの形をとることができる工夫がされています。

それから大日本図書の上46ページをご覧ください。これは、動物を調べていくのですが、これも鮮やかな写真で子どもたちの興味関心を引く工夫がされています。

そして48ページを開いていただくと、実際に生き物を探そうという、探している子どもたちの写真があって、自分たちも探しに行きたいなと思わせる工夫があります。

そしてそれが51ページまで調べたり、育てたりする活動がありまして、52ページには図鑑が載っています。生き物の図鑑があって、こういった中で虫の飼い方、そういったものも載っています。子どもたちが非常に活動しやすいように工夫があります。

以上です。

栗崎委員

生活の授業の時間数を教えていただけますか。

岡林学校教育
部次長

申しわけありません。今わかりませんので、後ほどお答えさせていただきたいと思います。

東野教育長

生活科の1年生、2年生ということで、教科書もきっちりしておかないといけないのですけれども、やはり電子黒板などを使ってとか、そういう形で進めていかなければならないとは思いますが、データのコンテンツの利用では各教科書はどのようになっておりますか。

岡林学校教育
部次長

例えば、東京書籍の下12ページをご覧ください。写真の中に、タブレットを持って観察をしている子どもの写真があります。

そして例えば、啓林館の下32ページをご覧ください。ここには観察で持っていくものの中に、カメラ、これは自分たちで写すということでカメラというものもあります。

どこの教科書だったか、デジタルカメラの使い方を載せていた教科書がありました。

教育出版の下123ページ、記録しておこうのところに、デジタルカメラやタブレットを使って記録をするように促している教科書がございます。観察記録は重要ですので、そういったことを工夫されている教科書も結構あるということで終わりたいと思います。

有馬委員

生活というのは1年、2年生が習うということですがけれども、そうなると幼稚園から小学生に上がって一番違うのが、登下校するが児童1人、または友だちと帰るということになると思います。登下校中の注意喚起というか、防犯・防災についてわかりやすく書かれている特徴のある教科書はありますか。

岡林学校教育
部次長

例えば啓林館の下128ページでは、登下校中に災害などが起こったときにどうしたらいいかということが、1ページ割かれています。それから教育出版の下134ページをご覧ください。ここには覚えておこう、安全ということで災害時にどうしたらいいかということも書かれています。

それから光村の上138ページには、歩くときの約束であるとか、災害のときの「おかし」も書かれてあります。

日本文教出版の上18ページ、19ページにも安全について書かれています。日本文教出版の下124ページにもございますし、各社非常に工夫して載せられていると思います。

それから大日本図書の上の107ページ、これには「いかのおすし」、ついていかない、車に乗らない、こういう行き帰りの安全も含めて、帰ってからの安全も含めて書かれているなど、各社、さまざまに工夫されています。

授業時間数ですがけれども、1年生は生活科は年間102時間、2年生は105時間という設定になっております。

以上です。

東野教育長

ありがとうございます。それでは意見のほうも尽くしましたので、生活科のほうの投票をしたいと思います。

議場の閉鎖をお願いいたします。

投票用紙の配付をお願いいたします。

それでは投函をお願いいたします。

投票の結果を発表いたします。小学校生活教科用図書につきましては、5票で啓林館を採択することとなりました。

議場の閉鎖を解いてください。

有馬委員	<p>それでは、続きまして音楽にまいりたいと思います。 音楽につきまして、ご質問のある方、よろしく申し上げます。</p> <p>小学校の音楽で一番特徴があるのはリコーダーが始まることだと思います。そしてリコーダーが得意な子はどんどん進んでいくし、つまづいてしまう子、リコーダーに限らずほかの楽器もですけれども、つまづく子どもたちへのフォローというか指導の手だてや、こうしたらいい、もっとやりやすいみたいな感じのことを書かれている、工夫されている特徴のある教科書があれば教えてください。</p>
岡林学校教育 部次長	<p>音楽は2社ですので、その2社ともにそういう工夫はされています。3年生で比べてみたいと思いますので、両社3年生をお願いします 教育出版は20ページ、教育芸術社は26ページをご覧ください。 最初にシを吹くことが多いです。レとかシとか、そういった1つ穴を押さえて吹く、あるいは2つ押さえて吹くということで最初に入っていくのですが、なかなか塞ぐというのが難しい、あとツーという吹き方がなかなか子どもたちにとっては難しいことがよくあるのですけれども、これも楽しく学習できるような工夫があります。間違いを恐れるのではなくて、どんどん自分たちで吹いてみようというような工夫、例えば教育出版で言うと友だちとシの音で挨拶ごっこをしながら吹くという、吹くことに抵抗感がないように工夫をする。 それから教育芸術社でいうと音まね遊びですね。下にピーポーピーポーという絵がありますけれども、そういった生活の中にある音をまねて楽しむというか、そういうことをしながら、吹くことに抵抗感がないように、各社工夫されています。 以上です。</p>
栗崎委員	<p>童謡がかなり少なくなっていると思いますけれども、諸外国の音楽や文化などを紹介されている、日本の音楽もそうですけれども、文化を紹介されている特徴的な教科書というのはありますか。</p>
岡林学校教育 部次長	<p>特徴的なものは、教育出版になります。教育出版の4年生40ページをごらんください。 これは、日本のお祭りを訪ねてというページになります。四季を通じて、さまざまなお祭りの中で聞こえる音楽であるとか、それから42ページには、お囃子のリズムを楽しもうであるとか、そういった日本の昔から地域になじみのある音楽に触れています。 46ページをご覧ください。日本だけではなくて、ここからは、サンバを楽しもうということで、違う国の音楽にも触れております。62ページをご覧ください。英語の歌も配置されておまして、教育出版は全学年で英語の曲を配置されています。こういう特徴はやはり教育出版にあるかなと思います。 以上です。</p>
有馬委員	<p>やはり子どもたち自身が歌う、楽器を演奏するということが音楽だと思うのですが、それ以外の社会生活の中で聞く音や音楽とのかかわり、そう</p>

岡林学校教育 部次長	<p>いうものに特徴がある教科書があればお願いします。</p> <p>2つの教科書、ともに社会の中にある身近な音、実生活と音楽を重ねて考えるような教材がございます。</p> <p>教育芸術社の6年生74ページをご覧ください。これですと、音の働きや役割について考えようということできざまな日常の身の回りにある音、音楽、その働きについて紹介されています。音楽って身近なところに随分あるねというような、そういう紹介がされています。</p> <p>それから教育出版の6年生40ページをご覧ください。音楽にできること、心を伝える、心をつなぐということで、音楽が人々のつながりにどういふ影響を与えているかというようなことをここに載せてある、日常生活の中に音楽というのは、随分入り込んでいるのだということを、ここで学ぶことができます。</p> <p>両社、特徴的な取り上げ方をしています。</p> <p>以上です。</p>
東野教育長	<p>ほかに何かご意見ございますか。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>質問のほうがないようでございますので、それでは音楽の投票に入りたいと思います。</p> <p>議場の閉鎖をお願いいたします。</p> <p>それでは投函をお願いいたします。</p> <p>それでは投票の結果を発表いたします。小学校音楽の教科用図書につきましては、6票で教育出版を採用することとなりました。</p> <p>議場の閉鎖を解いてください。</p> <p>時間が長くなりましたので、ここで5分の休憩をとらせていただきます。</p> <p>次は25分から開始いたします。</p>
東野教育長	<p>それでは休憩前に帰りまして、会議を再開させていただきます。</p> <p>続きまして、図画工作の教科について審議をしたいと思います。</p> <p>図画工作について、何かご質問等ある方、どうぞお願いいたします。</p>
和田委員	<p>図画工作というと、やはり発想力といいますか、もしくは想像力。やってみようという気持ちにさせるのがすごく大事かなと思うのですが、そのあたりで特徴的なことがあれば教えていただきたいと思います。</p>
横田学校教育 部長	<p>2社ございますけれども、両社とも工夫がされておりました。</p> <p>例えば日文5・6年、上34、35ページです。それから同じく日文5・6年、下34、35ページでございます。どちらのページもひらめきポケットというタイトルでして、子どもたちがさまざまな材料ですとか対象物に働きかけたくくなるような、触ったりといった行為も含めてさまざまな角度から</p>

ものを見ることによって、それをテーマに児童の発想、活動の意欲をかなり引き出す配置となっております。

同じく5・6年上の巻頭の見開き3ページ、4ページを開いていただきますと、これは教科書美術館というタイトルでして、児童の発達に合わせたテーマを設定しまして、美しいもの、あるいはユニークな形のオブジェ、美術の作品などを紹介しております、子どもたちの感性に働きかけるような、イメージを豊かにするような工夫がされております。

一方で、開隆堂5・6年上、2ページから4ページの見開きページをご覧ください。これにつきましては学習の目当て、あるいは見方、1年間の学習内容の紹介もしております、子どもも教師も1年間こんなことをするのだなという見通しを持てるような、意欲を湧かすような工夫がされています。その裏面の、5、6、7ページ、特に6、7ページは、これも学年の表題となっております、心を開いてというタイトルも再掲されております、特にこの風神雷神図屏風、児童の興味を引く写真が掲載されております。その下にはそれを見て模写した児童の作品名も載っています。

同じく、この50ページをご覧ください。

このページは、学びの資料、造形の引き出しというテーマで、学年に応じた用具でありますとか、材料、あるいは知識、使い方が示されているページです。安全面での注意、片づけ、使い方、作り方、それ以上に造形的なものの方や考え方、鑑賞の方法などの知識、技能についても掲載されているページでございます。

そういった工夫、意欲的に学ぶ工夫がされておられました。

以上です。

有馬委員

図工というのは、絵を描いたり物をつくったりすることなので、作品をこつこつ1人で集中しながらつくっていくというイメージがあるのですが、学校でやるということなので、友だちと、クラスの子たちと一緒に話をしながら交流をして、対話的な活動をするようなことは教科書に書いてありますか。

横田学校教育
部長

両社とも、そういう対話を重視した活動の例が見られました。

例えば開隆堂3年生上、34、35ページです。

トントンくぎ打ち、こんこんビー玉ということで、これにつきましては、児童がグループごとにくぎ打ちゲームをつくりまして、造形活動とともに仲間との共同活動、グループで共同活動をする教材となっております。この作品ができた後に一緒に遊びながら対話を通して、よりおもしろい工夫を、くぎを打ち直すなど、そういう対話を通じた学習が行われているということです。

また、一番下ですけれども、下に小さくカエルのマークで振り返りと、みんな楽しく遊べたかなということで振り返りも授業の最後に取り組むという仕掛けになっています。

次に日本文教出版ですが、3、4年上の32、33ページです。こちらのほうも先ほどの開隆堂さんと同様のくぎ打ちトントンですが、これはくぎを長く打ってみたり、もともとひびが入っていた部分にたくさんくぎを打ってみたり、自由な造形活動を行っております。これはグループで1つの作品をつくるわけではありませんが、この造形の作成の途中にお互いで作品を見せ

合いながら、そのでこぼこはおもしろいね、あるいはもうちょっとここにくぎを打ったほうがいいんじゃないという対話をしてお互いの作品をつくる中で対話が生まれると。場合によってはそれぞれがつくった作品をドッキングさせて馬をつくったり、子どもたちが自分でつくったものを隣の子とくっつけて別のものをつくるというような工夫もできるという活動でございますので、委員がおっしゃられたような対話的な活動というのは一例でございますが、さまざまな場面で図工の時間にも行われる工夫がされています。

以上です。

東野教育長

開隆堂はQRコードを使うと思いますが、日文はどういうふうになっていますか。

横田学校教育
部長

開隆堂は確かにQRコードが多くページに、ほぼ全ページに近い状態についておまして、見てみますと、作品例であったり、作品の製作過程が載っていたりしておりますが、場合によっては、例えば3・4年上の22ページを見てみますと、開隆堂は全てのページの左下に、例えば22ページでしたら青、ブルーということで、特にこの教材とは関係ないのですが、英語の単語と単語の訳が書いてあります。QRコードをかざしてみますとその発音がブルーとか出てくる工夫もございましたので、全てが作品に関係あることではないのですけれども、ただ、多くのページに作品の例が示されておりました。

教育長がおっしゃるように、日文にはQRコードは設けられておりませんので、これについては逆に言うと、今までの子どもたちの過去の作品例ですか、そういったことを見ながら担任が紹介していくことになるかと思えます。

以上です。

東野教育長

ほかに何かご質問ございますか。

よろしいですか。

意見等がないようでございますので、それでは図画工作の投票に入りたいと思えます。

議場の閉鎖をお願いいたします。

それでは、投票用紙の配布をお願いいたします。

それでは投函をお願いします。

それでは投票の結果を発表いたします。小学校図画工作の教科用図書につきましては5票で、日文を採択することになりました。

それでは議場の閉鎖を解いてください。

それでは続きまして、家庭科の教科について審議をいたしたいと思えます。

家庭科についてご質問される方、よろしくをお願いいたします。

有馬委員

家庭科というのは、家ででの生活のことや衣食住に関すること、子どもたちの生活と直結することなのですけれども、それが生活に生かせる、子どもの生活に生かされるようなことが書かれているのは、どのような工夫がされているのか教えてもらってもよろしいでしょうか。

岡林学校教育
部次長

家庭科については、2社ございまして、2社ともに実生活に生かす工夫が教科書の中に書かれてあります。

東京書籍の128ページをご覧ください。東京書籍につきましては、この128ページのように、單元ごとに生活を変えるチャンスというコーナーがあります。学んだことを実生活に生かすというページがありまして、そこが特徴的かなと思います。

それから開隆堂ですけれども、75ページをご覧ください。

チャレンジコーナーというものが設定されていて、家庭で実践してみようというページ、それから76ページをご覧ください。レッツトライというページもあります。77ページには、私の仕事スペシャリティ、家族のためにとということで、学んだことを実践してみようという促すようなページがございまして、両方とも工夫されています。

以上です。

栗崎委員

人権や安全面の視点で配慮されている教科書というのはありますか。

岡林学校教育
部次長

両教科書会社とも工夫されています。開隆堂の72ページをごらんください。

72ページの写真を見ていただいたら、男性だろうが、女性だろうが性別にとらわれずに、73ページの絵もそうですけれども、男女の性別にとらわれず家族の役に立つであるとか、家族とともにということが非常に写真からも読み取れるようになっていきます。

それから132ページをご覧ください。これは、きき手はどちらということで、上の段が右ききの場合、下の段に左ききの場合ということで縫う場合、はさみで布を切る場合、包丁を使う場合、図式で示されています。

それから45ページをご覧ください。安全面でいいますと45ページ、一番右下にありますけれども、安全と書いたマークがあるかと思います。單元ごとに安全に留意すべきところについては、この安全マークがあって注意を促しています。

それから51ページをご覧ください。これは御飯を炊いてみようという單元ですけれども、51ページの下、防災という欄もあります。災害時の炊き出しでは、よくお握りやみそ汁がつくれますということで、防災にもつながるような関心を持たせるような工夫も開隆堂はされています。

では、東京書籍に移ります。東京書籍の74ページをご覧ください。東京書籍の74ページの絵も見ていただいたら、これも性別にかかわらず家族の役に立つんだとか、家族と一緒にというようなことが感じとれる絵になっています。開隆堂と同じように随所に見られます。

135ページをご覧ください。これも先ほどの開隆堂と同じように上の段に右ききの場合、下に左ききの場合、それから137ページにも布を裁つ場合の右ききの場合、左ききの場合ということで、どちらがきき手であっても活動ができるような工夫があります。

それから、東京書籍の93ページをごらんください。こちらも開隆堂と同じく93ページの真ん中、これも安全マークですね。例えば、雑巾を絞るときに肌の弱い人とはというような配慮が書かれてあります。

126ページをごらんください。ここの資料のほうには、地域を笑顔にということで、福島県の東日本大震災とかかわったこういうコラムがあったりもします。両方とも非常に工夫された教科書です。

以上です。

佐野委員

QRコードが極端に少ないものと多いものとあるのですが、QRコードはというふうに使っておられますか。

岡林学校教育
部次長

東京書籍の5ページをご覧ください。この下に、Dマークというものがあります。実はDマークがついているページがありまして、このマークが出てくるとインターネットからデータをダウンロードするとか映像をダウンロードできたりもします。

そういうふうさまざまなところで使えるのですが、例えば、Dマークがついているところというと、17ページとか18ページにDマークがついて、17ページを見てください。包丁の使い方、右きき、左ききというDマークがついているかと思います。これは先ほどの5ページのQRコードをかざしていただいたら、そこからホームページに飛ぶことができ、そこから左きき、右ききの包丁の使い方についてダウンロードができるようになっています。

開隆堂の例えば23ページをご覧ください。開隆堂につきましてはこのQRコードを多用しています。23ページの一番上にもQRコードがありまして、このQRコードで映像をダウンロードすることができるのですが、これも開隆堂の場合は玉結びのところだけを見たい、そのやり方だけを見たいとなると、そのボタンを押せばその映像が出てくるようになっています。しかもQRコードですので、例えばQRコードでダウンロードしてその場面だけを、タブレットやパソコンに保存しておけば子どもたちは見たいなと思ったときに、そこへ行って見ることのできる工夫があります。これを使ってヒントコーナーを自分でつくって、先生がいなくてももう一度、その切り方を見たいとか、縫い方を見たいとか、玉結びの仕方を見たいと思ったら、振り返ることができるというような工夫がされています。

ミシンの使い方でも、41ページでQRコードがあって、ミシンの使い方を自分たちで、もう一度ここだけ見たい、①から⑤まであるのですが、それぞれの場面を動画で見ることが可能になっています。

87ページもありまして、これは調理でもQRコードで、その場面その場面のやり方、切り方であるとか、調理の仕方をその場で復習したり、自分でわからなければ見たりする、そういうような工夫ができるようになっています。

以上です。

東野教育長

ありがとうございます。
ほかにご質問はございますか。

よろしいですか。他に意見がないようでございますので、それでは家庭科

<p>東野教育長</p>	<p>の投票に入りたいと思います。 それでは、議場の閉鎖をお願いいたします。</p> <p>投票用紙の配布をお願いいたします。</p> <p>投函をお願いします。</p> <p>投票の結果を発表いたします。小学校家庭科の教科用図書につきましては、5票で開隆堂を採択することとなりました。 それでは議場の閉鎖を解いてください。</p> <p>それでは続きまして、保健の科目について審議をしたいと思います。 それでは保健につきまして、ご質問されます方、いらっしゃいますか。</p>
<p>有馬委員</p>	<p>保健ということで、5、6年から始まると思うのですけれども、そういうときはもう男子女子関係なしで、男女の差というよりも、男子でも背が高い子低い子、女子でも背が高い子低い子と、個人差が激しくなってくるのですけれども、そのことを肯定的に受けとめられるような配慮はされているのか、もしあれば教えていただきたいです。</p>
<p>横田学校教育 部長</p>	<p>ただいまの個人差の問題につきましては、各社ともに、ある意味慎重に、わかりやすく挿絵などを使って解説をされております。</p> <p>2社ご紹介します。</p> <p>まずは東書です。3・4年の24、25ページをご覧ください。</p> <p>このページは、体の成長と私という単元でして、赤ちゃんのときの手形、それから靴、こういう比較からだんだん大きく成長してきた自分に対しての驚きですね。これとこれは、これはこれで、感じることから導入していきます。自分の成長をしっかりと受けとめる工夫ができています。</p> <p>次に大日本ですが、3・4年生の巻末のシールのページをごらんください。</p> <p>これはシールを使ってやってみようということで、1年間の自分の身長伸びを計算して、その分の長さを切り取って自分の成長を実感するという工夫がなされております。ですので、実際に作業することによって個人差、隣の子どもたちとは違うということがわかります。参考までに24、25ページに戻っていただきますと、同じ学年でもミサキさんからソウタさんまで個人差があるよということが、4人の個人差を学べるようになっております。</p> <p>以上です。</p> <p>他の各社ともにこういった工夫がございました。</p>
<p>栗崎委員</p>	<p>同じ成長のことですけれども、思春期にあらわれる変化については、どのように記述されていますか。</p>
<p>横田学校教育 部長</p>	<p>思春期のいわゆる成長の個人差、特に第二性徴に関することだと思えますので、これも2社例を挙げて説明をします。</p> <p>文教社、3・4年生22ページです。</p> <p>このページは、思春期の体の変化となっております。このページを開いたまま、光文の3・4年生、28、29ページをお開きください。</p>

こちらにも思春期の体の変化のページがございます。この両社ともに体操服を着た子どものイラストに工夫が見られます。そして、特に1つ目の文教社、こちらのほうはイラストが中心になっていますけれども、成長するイラストがございます。

一方で、光文のほうは写真で成長する姿が掲載されています。

そして、両社とも右ページの下段のほうに、29ページと23ページ、登場人物の体験談、エピソード等が掲載されているコーナーがありまして、より身近なこととして捉えられるような工夫がされておりまして。

これは他社においても同様のページがございまして、かなり個人差、特に第二次性徴の個人差については取り扱いが配慮されておりまして。

以上でございます。

田中委員

がんのことも踏まえて、喫煙はだめだとか、薬物はだめだと、そういったことが常識ではあるのですけれども、そういった観点から捉えている教科書というのはございますか。

横田学校教育
部長

がんについて触れることについては学習指導要領のほうにも触れられておりますので、特徴的な3社を紹介いたします。

まず、学研5・6年生の40ページです。このページの下の方に、肺のレントゲン写真がございまして、そこからもっとというマークがございまして、44ページをご覧くださいますと、がんの発生の仕方、予防、治療に至るまで、QAの形式でわかりやすく掲載されておりまして。

続きまして、東書の5・6年生、62ページです。こちらは、がんを予防しようという発展のコーナーですが、写真で健康的な状態の大腸、そして、がんができた大腸の比較をするような掲載がされておりまして。また、がんを防ぐための新12カ条ということが掲載されておりまして。

さらに光文の5・6年生、52ページです。このページは、広げよう、深めよう、がんのことを知ろうというページでして、特に発展的な取り扱いの中でありますが、棒グラフ、折れ線グラフを用いまして死亡原因の変化、がん検診の重要性に触れられております。

全社とも、がん教育については取り扱われておりまして。

以上です。

佐野委員

保健の場合に体の成長というのは当然大事ですが、心の発達についてはどういった感じで扱っているのでしょうか。

横田学校教育
部長

心の発達につきましても各社ともに取り扱われておりまして、感情であったり、あるいは社会性であったり思考力、さまざまな観点から取り扱っておりますので、これについても2社例示させていただきます。

まず、学研5・6年、14ページをお願いします。

体がリラックスすると心もリラックスすると。体ほぐしの運動ですが、これは腹式呼吸を含めまして、心の安定につなげるというページでございます。リラックスをさせるというページでございます。

16、17ページに進んでいただきますと、みんなどうしたかな、悩みへの対処ということで、こちらは、現代の子どもたちが日常的にさまざまな悩みを抱えたときに、どのように解決していくか、スクールカウンセラーや窓

口の電話番号まで掲載されております。

次に、大日本5・6年生ですが、8、9ページをごらんください。

このページも心の発達となっております、特にこのつくりは1年生のときと比べてどのように変化しましたか、例えば、欲しいものを買ってもらえないときにといいことで、そういう具体的な場面を考えさせることによって自分の心の成長を振り返る、そういう学習活動が展開されてまいります。

次の10ページ、11ページはその心と体のつながり、12、13ページは実際悩みがあるときの解決方法、14、15ページにこちらもまた相談窓口、電話番号も掲載されているというようになっております。

他社も全てそういったページがございました。

以上です。

東野教育長

ほかにご意見はございますか。

よろしいですか。

それでは他に意見がないように思えますので、保健の投票に入りたいと思います。

議場の閉鎖をお願いいたします。

投票用紙の配付をお願いします。

それでは投函をお願いいたします。

それでは投票の結果を発表いたします。小学校保健の教科用図書については、4票で学研を採択することとなりました。

議場の閉鎖を解いてください。

続きまして、英語の教科について審議したいと思います。

それでは英語につきましてご意見のある方、ご質問ある方、どうぞ。

和田委員

既に英語活動ということでされていると思うのですが、それとの関係で、特に教科化されますので、使っている教材や指導方法などとのつながりという点でご意見をいただけたらと思います。総論で結構です。

横田学校教育
部長

委員の皆様もご承知のように、本市は小学校1年生からフォニックス、音と文字の学習ということで、デジタル教材を使って既に学習しておりますので、今回の教科書採択の5、6年、外国語の前段階、3、4年生に外国語活動が次年度から正式導入されますが、そのさらに前段階として小1、小2でごく基本的なフレーズですけれども、英語の発音、英語の歌、実際に身ぶり手ぶり、振りつけをして取り組んでおりますので、その次に令和2年度から3、4年生の外国語活動につながっていく。そしてさらに4年生までの外国語活動を踏まえた上で、今から採択していただく、選んでいただく5、6年の教科書につながっていくという流れになりますので、今年度も試行的に3、4年生、移行措置として外国語活動をしておりますけど、その前に、既に3年生も1年生、2年生でフォニックスの活動をしておりましたので、6年間の中でつながっていきます。来年からはさらに時間数もふえて、この5、

田中委員	<p>6年生の教科書として外国語という形で進んでいくということになります。以上です。</p> <p>そういった意味で1年から4年、全体に小学校の英語というのは、慣れることが目的だと思うのですが、そういった中で、今回、5年、6年で初めて教科書という教材を使うと。そういったときに教材に対するなじみというか、子どもたちにとっての導入のしやすさという観点から見た場合の教科書はどうでしょうか。</p>
横田学校教育部長	<p>そういう意味でいいますと3、4年生との、特に4年生のつながりという部分が重要になってくると思います。</p> <p>例えばですけれども、三省堂5年生15ページをご覧ください。三省堂につきましても、例えばこの15ページのホップ、ハローよろしくねというページですが、これは3、4年生までに取り組んできた外国語活動で身につけたことが、実際にできるかできないかということがホップで確かめられます。その次に16ページからのステップということで、本題に入っていきます。</p> <p>これはレッスン1のみではなくて、例えば39ページを見ていただきますと、39ページもホップ、ハロー・ミスターサノということですね。これは3、4年生の活動で行っているのですけれども、それを踏まえた上で、40ページ以降ステップ、本題に入っていくというつながりをつくっています。</p> <p>もう1社紹介しますと、光村の5年生の10ページです。光村は、この10ページからがレッツスタートですね。具体的にはそこに4つの解説ということから始まるのですが、18ページまでが3、4年の外国語活動と5年生の外国語のつながりのページになっています。</p> <p>各社ともにそういう工夫があるのですけれども、何らかの形で振り返りをしながら、この5年生の外国語に入っていくということで、スムーズなスタートをしていく工夫が見られます。</p> <p>以上です。</p>
有馬委員	<p>教科化となるということですが、一体、授業は週何時間あるのか教えてもらってよろしいでしょうか。</p>
横田学校教育部長	<p>5、6年生の外国語の時間につきましては、令和2年度よりは70時間というふうになります。5年生も70時間、6年生も70時間、ですのでおおむね週あたり2コマということになります。</p> <p>参考までに3年生、4年生で正式導入する外国語活動につきましては、年間35時間ですので、おおむね週あたり1時間程度になります。</p> <p>以上です。</p>
栗崎委員	<p>先ほどの教科書の中でありましたけれども、書く、聞く、話すというコミュニケーション力をつけるために、各教科書ではどのような工夫をしていますか。</p>
横田学校教育部長	<p>今、おっしゃられましたように特にコミュニケーション力、これは当然もう全ての外国語活動として、外国語には最も重要なポイントですので、さま</p>

さまざまな工夫がされておりまして、例えば東京書籍5年生、22ページをご覧ください。

このページですが、CD等、あるいは先生の読み上げで聞く活動をした後に、エンジョイコミュニケーションコーナー、バースデーカードを送ろうというコーナーでございます。既に習っている語句やフレーズを使いまして、自分の考えを発表する場面です。この章以外でも各章でございます。

次に三省堂ですが、5年生56ページをご覧ください。下段のほうにトーク・ツー・フレーズ、4人の話を聞こう。これAさんからBさんまでいるのですけれども、ともに習ったフレーズを使って、Aさん、Bさん、Cさん、Dさん、4人の話を聞いてから逆に自分を伝えていくというような活動が、全てのページ、全てのレッスンに用意されておりまして。伝え合う活動としての工夫です。

次、光村の6年、23ページをご覧ください。このページですが、レッツトライということで上から2番目でございますが、これはペアでやりとりをしましょうということですので、ペア活動として、この与えられた資料をもとに伝え合うということが実践されるコーナーになっています。これも光村のほうは、全てのレッスンにこのような仕掛けが工夫されておりまして。

一方で今回、特に外国語活動につきましては、新たに英語を書くという活動もありますので、その点を工夫した教科書を紹介しますと、学校図書の6年生、学校図書の2のほうの22ページです。

このページにつきましては、22、23ページと学びを進める上で、23ページの4番のところで、薄い字で書いてある英文をなぞります。アルファベットを順番になぞっていったら、その下にもう一回自分で4線に英語を書くということが示されています。これはほかの単元でも同様の工夫がされておりまして。

次に教育出版の6年生、22ページをご覧ください。

このページは、レッスン2、マイ タウン イズ ビューティフルですけれども、ここから27ページまで進んでいきますと、読む、聞く、話す等の取り組みの活動をしていくのですが、最終的に単元の終わりの30ページ、31ページに書くという作業があります。30ページの2は、4線にAを書く、実際にどういう単語の中のAかということを見ながら書く。そして31ページの2のところには単語を書き写すということで、書く作業が示されておりまして。

このように随所に、4線に英語を書くという作業が5年生から始まっています。

以上です。

和田委員

指導方法についての質問なのですが、英語がスタートしましたら、各担任の先生が単独で教えられるのか、それとも指導助手の方、外国をルーツとする方がつかれてされるのか、松原のことを考えて、教えてください。

横田学校教育
部長

実は現在もそういうふうに取り組んでいるのですけれども、小学校につきましては、英語指導協力員が担任と入りまして、外国語につきましては複数で取り組んでおります。場合によっては、ALTも配置している場合もございます。次年度につきましては時間数も増え、まだ予算措置がどうなるかということがございます。

私どもの方向としましては、担任1人よりもやはりそういった英語助手の方、できるだけネイティブな発音ができる方を配置して、できれば全ての授業をとら思っておりますけれども、それは予算の範囲内ということになります。やはり小学校の先生は、一番これが悩みの種ということもおっしゃっておりますので、専門性がない、特に非常に苦手意識のある先生に対しての支援策としては、そういった人材の配置を考えていきたいと思っております。

以上です。

有馬委員

英語でQRコードがある教科書があると思うのですが、特徴があれば、QRコードの内容など、もしわかっていれば教えていただきたいと思えます。

横田学校教育
部長

QRコードのほう、各社実際かざしてみたのですが、発音が出てきたり、あるいは動画が出てきたりさまざまです。ただ、実態でいいますと、御存じのように小学校は電子黒板を導入しております、実際はもうフォニックスを実施する際に子どもたちも1年生から当然モニターからネイティブの発音が出てくるという学習しておりますので、もちろん有効なQRコードでありましたら担任が何らかの形で使うかと思うのですが、一方で、この採用した教科書もさまざまな、CDの教材や、場合によっては電子黒板を使って子どもたちに提示ができると思っております。

各社ともに確かに、このQRコードを導入されているのですが、啓林館と開隆堂、QRコードについては各社使っていますけれども、それを使うかどうかについては、また採用された教科書を見てということになるかと思えます。

以上です。

東野教育長

ありがとうございます。ほかにご意見はよろしいですか。

意見のほうも尽くされたと思えますので、それでは英語の教科についての投票を行いたいと思えます。

会場の閉鎖をお願いします。

それでは投票用紙の配付をお願いします。

それでは投函をお願いします。

投票の結果を発表いたします。

小学校英語の教科用図書につきましては、4票で三省堂を採択することとなりました。

それでは議場の閉鎖を解除してください。

それでは最後に道徳の教科について審議をいたします。

道徳についてご意見のある方、ご質問のある方、よろしくお願ひいたします。

田中委員

道徳が教科になったのが、大津市のいじめの事件がきっかけであったと思

います。いじめ問題については全教科書、取り上げているとは思いますが、特徴的なものを教えていただけますか。また、その中で命の尊さを取り扱っている教科書につきましてお願いいたします。

岡林学校教育
部次長

おっしゃるように、いじめの問題、命の尊さについては全ての教科書で工夫して取り上げられています。

たくさん、8社ありますので、特徴的なものに絞ってご紹介させていただきたいと思います。

いじめの問題で特徴的だと思いましたが、光村図書の6年生42ページを開いてください。これにつきましては、泣き虫という題名になっています。特徴的なのは、いじめられる側いじめられる側だけではなくて、周りで見ている者、傍観者の側からこれをどう捉えるかということを中心とした教材となっています。

特に特徴的な情景ですと、44ページを開いてください。7行目を読み上げさせていただきます。

正直に言います。私もフジイ君のそばを通るときは、鼻と口を片手で押さえてさっと通り過ぎるようにしていたのです。なぜ、もちろんみんながそうしたからです。みんなのするとおりに自分もする、それほど簡単なことはありません。という記述があります。子どもたちがこれを読んだときに自分のこととして捉えて考えることができる工夫がこの教材にはあると思いましたが、いじめの問題に関しては光村図書を紹介させていただきました。

命の尊さということでは、これも各社工夫されているのですが、学校図書の4年生をお願いいたします。58ページをご覧ください。

これは、「電池が切れるまで」という、ほかの教科書会社にも載っている、実在した病を持っている女の子の話なのですが、最後まで生きるという希望を捨てずに、最後まで命を全うしてこの世を去った女の子の実話が載せられています。

同時に82ページをご覧ください。車椅子を操ってという教材がありますが、84ページをご覧くださいと、根木さんが載っています、松原市の元職員の方で今も松原市の教育活動に協力してくださっている根木さんの姿もあります。

このように命の尊さ、ともに生きるという観点で、特徴的な学校図書を紹介させていただきました。

以上です。

栗崎委員

私たちの子どもの頃は、先人とか、偉人の伝記を読みましたが、それが少なくなっているのではないかと感じております。こういう先人や偉人の伝記を取り扱った教材を掲載されている教科書というのはありますか。

岡林学校教育
部次長

全ての教科書で取り扱われています。特に高学年では、来年度から完全実施となる新学習指導要領から、よりよく生きる喜びという内容項目が新たに加わっております。人間の強さや気高さを理解し、喜びのある生き方につなげるように指導するということが求められております。

先人偉人の生き方から効果的にそれが学習できるということで、先人偉人のお話を掲載されている教科書会社は全てございまして、その中でも特徴的なものが教育出版でございまして、8社の中で最も活躍したスポーツ選手であ

るとか、先人偉人の教材が最も多く、5、6年生では10の教材がございます。

まずは5年生の60ページをご覧ください。これは、自動車への限りない夢ということで、豊田喜一郎、今のトヨタ自動車の創業者のお話が載っています。94ページをご覧ください。キング牧師のお話が掲載されています。

それから、同じく教育出版6年生74ページをご覧ください。よく御存じかと思いますが、杉原千畝さんのお話が掲載されています。110ページをご覧ください。これもよく小さいころに読んだかと思うのですが、野口英世のお話が掲載されております。

続きまして光文書院の4年生124ページをご覧ください。アルフレッド・ノーベルが掲載されています。6年生の112ページ、先ほどもご紹介させていただいた教育出版にも載っておりますが、杉原千畝さんのお話が、やはり写真とともに載っているということです。どの会社も本当にいわゆる伝記と言われたものについては全て工夫して掲載されています。

以上です。

和田委員

道徳ですが、学んでよかったね、感動したで終わるのではなくて、やはりそのことを通して行動に結びつくということが大事だと思います。そういう観点で特徴のあるものがあれば教えてください。

岡林学校教育
部次長

全社、そういう読み物中心で学ぶものだけではなくて、さまざまな工夫がされているのですが、例えば、東京書籍の1年生の31ページをご覧ください。

私も頑張っているよということで、今自分が頑張っていることを書きとめて、どんな気持ちでしたかと自分の気持ちを振り返り、交流というか、友だちと紹介し合ったり交流したりすることができるように工夫されています。

それから31ページは頑張れシール、自分のことだけではなくて、今頑張っていることですね。シートに書いて、頑張っていることを友だちに教えましょうということで、まずは書いてみて伝えるという段階を経て交流する、喋ってみる、自分のことを振り返る、伝え合う、友だちのよさも知るという活動につなげられるような教材が工夫されています。

1年生の70ページをご覧ください。生活科ともつながると思うのですが、見つけてみようということで、パズルを当てはめながら地域のいいところや、自分の地域とつなげて考えたり、例えば72ページを見てみると一番上の吹き出しのところ、町の自慢の灯台だよと書かれてあります。子どもたちはこういうことを通して、自分の身の回りのこととつなげて考えるような学習活動にも持っていくことができる、そういう工夫がされています。

それでは学研の3年生86ページをご覧ください。これは、みんなの学級会ということで、話し合う場面を漫画で示してあります。

読むことが苦手な子どももいるかと思うのですが、こういう親しみのある漫画を通して、一番考えたいのは89ページです。違う意見が友だちから出た場合は、どうしたらいいのだろうかということを学ぶ教材、導入でこの漫画があります。違う意見を出したら、あなたなら何と言いますかであるとか、自分と違う意見が出されたときどのようなことを大切にすればいいですか、あなたの考えを書きましょうということで、実際の学級会の活動であるとか、休み時間の友だちとのルール決め方とか、そのときに役に立つような

教材もこういうふうに工夫されて載せられています。
特徴的なものは、以上です。

有馬委員

小学校で道徳が教科となって2年目になりますが、評価がとても難しいと思います。こういうふうに先生が大変だとか、やりやすい特徴的な教科書があれば教えてください。

岡林学校教育
部次長

それぞれに考えたこと、気づいたこと、振り返ったことをきちっと積み重ねていくとか、それを蓄積していく中で評価ができていきますので、その蓄積をどうしていくかということが重要になります。

さまざま学校でも工夫をされたり、そういう蓄積するものはつくられるかとは思いますが、それに特徴的なものとしまして、日本文教出版は別冊の道徳ノートがあるのですけれども、例えば5年生をごらんください。

別冊の道徳ノートというのがついているのです。例えば、5年生の別冊の4ページです。これは挨拶運動、教科書でいうと12ページになります。この12ページのこの学習、それから15ページに考えてみよう、見つめてみよう、生かしてみようとするのですが、それに対して、子どもたちが自分の考えを書いていきます。最後に、今日の学習はどうでしたかというところで、もう一度振り返ることができる、そうやって蓄積をできる工夫が日本文教出版ではされております。

それから廣濟堂あかつきの3年生の100ページ、母から学んだ生き方と渋沢栄一のお話があるのですが、別冊ノートの14ページとこれはリンクして、14ページで学んだことを、もう一度正義の味方になろうであるとか、あなたの考える正義の味方とはどのような人物でしょうということ、あわせて振り返って、自分の学びを書きとめて蓄積をする工夫がございます。

廣濟堂あかつきの5年生の126ページをご覧ください。ヘレンとともにというアニー・サリバンのお話があるのですが、126ページの下を見ていただくと、道徳ノート5ページとリンクして、そこに学んだこと、ここで考えたことを、この道徳ノートとワンセットで子どもたちが学んだことを蓄積していく工夫がございます。

これは別冊になっているものを、特徴的なものとして紹介させていただきました。

以上です。

東野教育長

ありがとうございます。
他にご質問、いいでしょうか。

よろしいですか。
それでは意見のほうは尽くされたと思いますので、道徳の投票を行います。

それでは閉鎖をお願いいたします。

投票用紙の配付をお願いいたします。

それでは投函をお願いいたします。

	<p>それでは投票の結果を発表いたします。小学校道徳の教科用図書については、5票で光村を採択することとなりました。</p> <p>それでは、議場の閉鎖を解除してください。</p> <p>それでは最後に、全ての科目について、再度ご報告いたします。</p> <p>国語については光村図書出版株式会社、書写は日本文教出版株式会社、社会は東京書籍株式会社、地図は株式会社帝国書院、算数は東京書籍株式会社、理科は株式会社新興出版社啓林館、生活は同じように株式会社新興出版社啓林館、音楽は教育出版株式会社、図画工作は日本文教出版株式会社、家庭は開隆堂出版株式会社、保健は株式会社学研教育みらい、英語は株式会社三省堂、そして最後に道徳は光村図書株式会社でございます。</p> <p>どうもありがとうございました。</p> <p>それでは、他に事務局より補足等何かございますでしょうか。</p>
森教育推進課長	<p>本日の採択結果につきましては、速やかに大阪府教育委員会に報告をさせていただきたいと思っております。また、市ホームページや広報に掲載をさせていただきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>以上です。</p>
東野教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>以上で、議案第13号「令和2年度使用松原市立義務教育諸学校教科用図書（小学校）の採択について」の審議を終わります。</p> <p>指導主事の皆さんはここで退席となります。お疲れさまでした。</p> <p>ここで5分ほど休憩を入れさせていただきます。</p>
東野教育長	<p>それでは、会議に戻りたいと思っております。</p> <p>それでは、その他案件に移りたいと思っております。</p> <p>「学校教育法附則第9条の規定による特別支援学級における教科用図書（拡大教科書）について」、事務局より説明をお願いいたします。</p>
森教育推進課長	<p>学校教育法附則第9条の規定による特別支援学級における教科用図書、いわゆる拡大教科書等の採択につきましては、今のところ、来年度の給付対象者は、現在小学5年生と中学2年生の2名となっております。当該児童の視力の状況を確認するなど、来年度の使用教科書について、現在調整中ということとなっております。</p> <p>調整がつき次第、採択をしていただく予定です。</p> <p>今後、新たに対象者が把握された場合は、早急に対応していきたいと思っております。</p> <p>以上です。よろしく願いいたします。</p>
東野教育長	<p>説明が終わりました。</p> <p>この件について、何かご意見等はございますでしょうか。</p>
和田委員	<p>公的にというか、規則上は今日この場でやらなくてもよいということです。</p>

	か。 対象者が出てきたときにやればよいということではないのでしょうか。
森教育推進課長	はい、そのようになっています。
東野教育長	他にご意見ご質問はございますか。 よろしいですか。 それでは、本日は、追加議案が提出されております。人事案件でございますので、秘密会議としてご審議いただきたいと思いますと思いますが、いかがでしょうか。
各委員	(異議なし)
東野教育長	それでは異議なしと認めます。秘密会と決しましたので、関係者以外の職員の退出のお願いをいたします。 学校教育部長、学校教育部次長、教育総務部次長、教育政策課長はお残りください。
東野教育長	【非公開】 それではほかにご意見ご質問等ございますでしょうか。 では、ないようでございますので、これをもちまして7月定例教育委員会を終わります。 長い時間、ありがとうございました。 (閉会宣言午後5時50分)

署 名 教育長 東野 光弘

委 員 田中 祥之